



吉  
吉  
吉  
吉  
吉  
吉  
吉  
吉  
吉  
吉

吉  
吉  
吉

~ 13  
3696  
3



西國奇談七編

什題曲三國空

春水補綴

國貞画



上

下

喜観堂版



國貞畫

西國奇談篇

下



春水補綴

介題曲五回書

上

梅蝶樓國貞画

為永春水補綴

新增補 第九編  
西國奇談



外題西國奇談

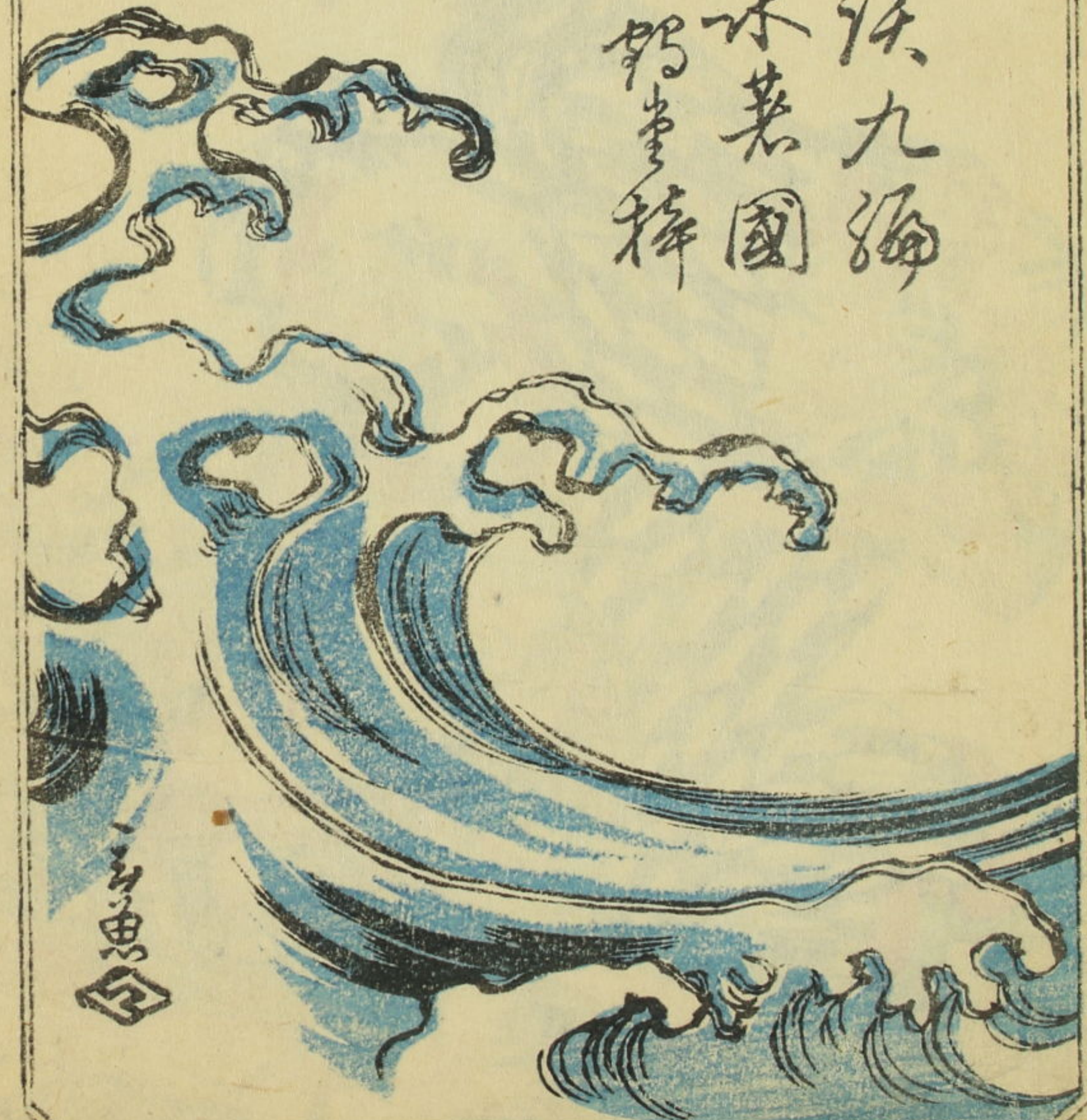
喜鶴堂版

上

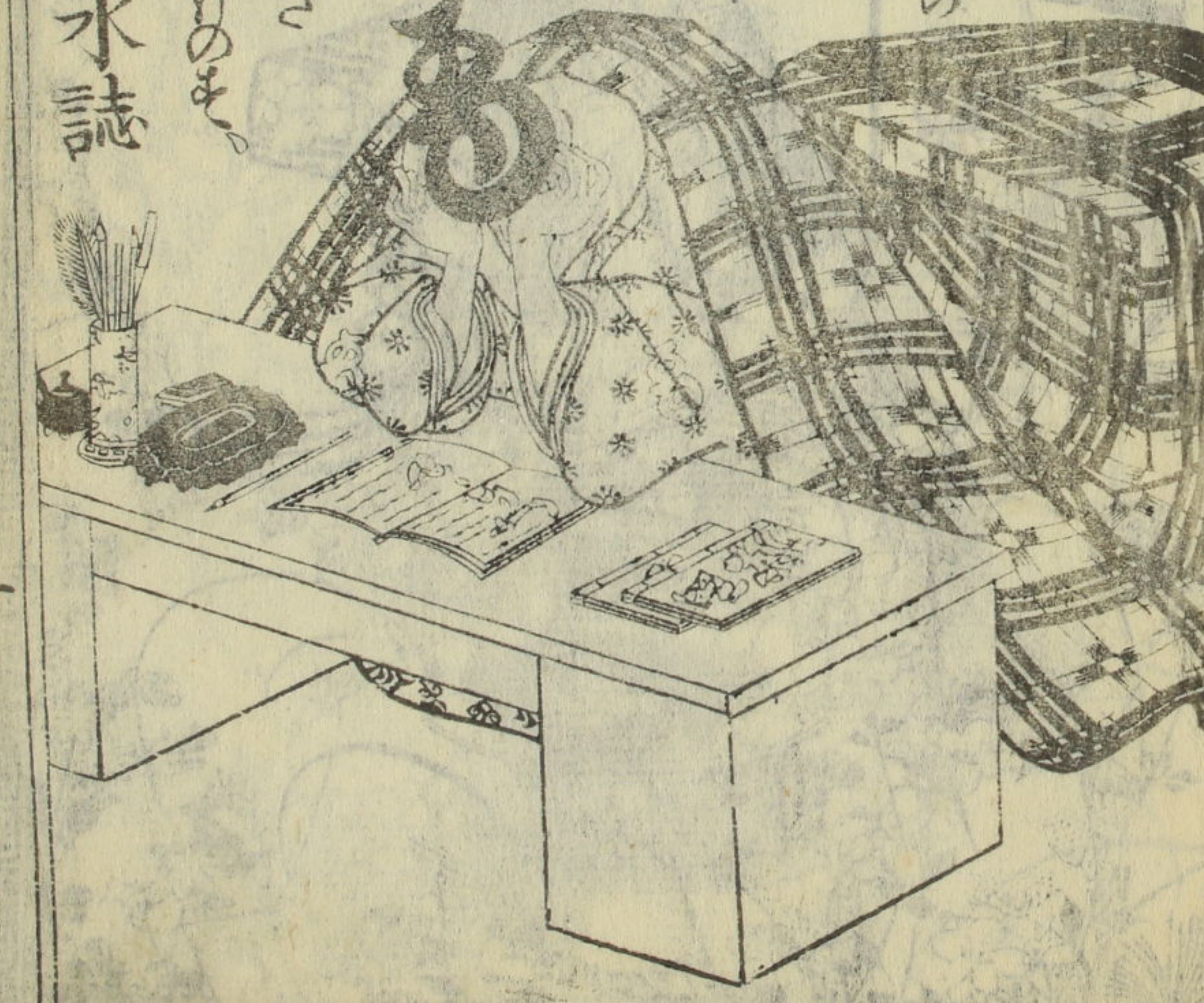
下

門へ13  
 號3696  
 卷3

西國奈侯九編  
 下冊春水某國  
 貞皇喜朝事粹



そものまきー  
 什麼這策手へ前販を、増補  
 せよとの需を、成、多くハ僕ガ  
 意、成、り、再、を、緯、系、新、作、の、ら  
 り、稀、を、り、然、の、は、ま、ど、も、旧、板、の、ら  
 紅、の、條、違、と、或、ハ、名、を、賣、  
 品、の、推、也、と、その、本、原、ハ、失、つ、ま、  
 茲、中、も、飯、野、の、風、坑、の、那、一、段、を  
 へ、ら、ま、の、の、ら、頃、ハ、初、冬、の、弥  
 寒、死、窓、の、障、子、の、風、光、を、と、  
 人、の、耳、を、ハ、駭、ら、さ、の、成、を、ま、  
 顔、小、机、小、對、ハ、火、の、氣、も、薄、き  
 巨、燵、の、裡、小、穴、籠、り、て、萬、葉、の、の、ま、



安政四丁巳子夏稿成  
 同六巳未初春發市  
 春水誌

西國奈侯九編



侍女  
八重桐



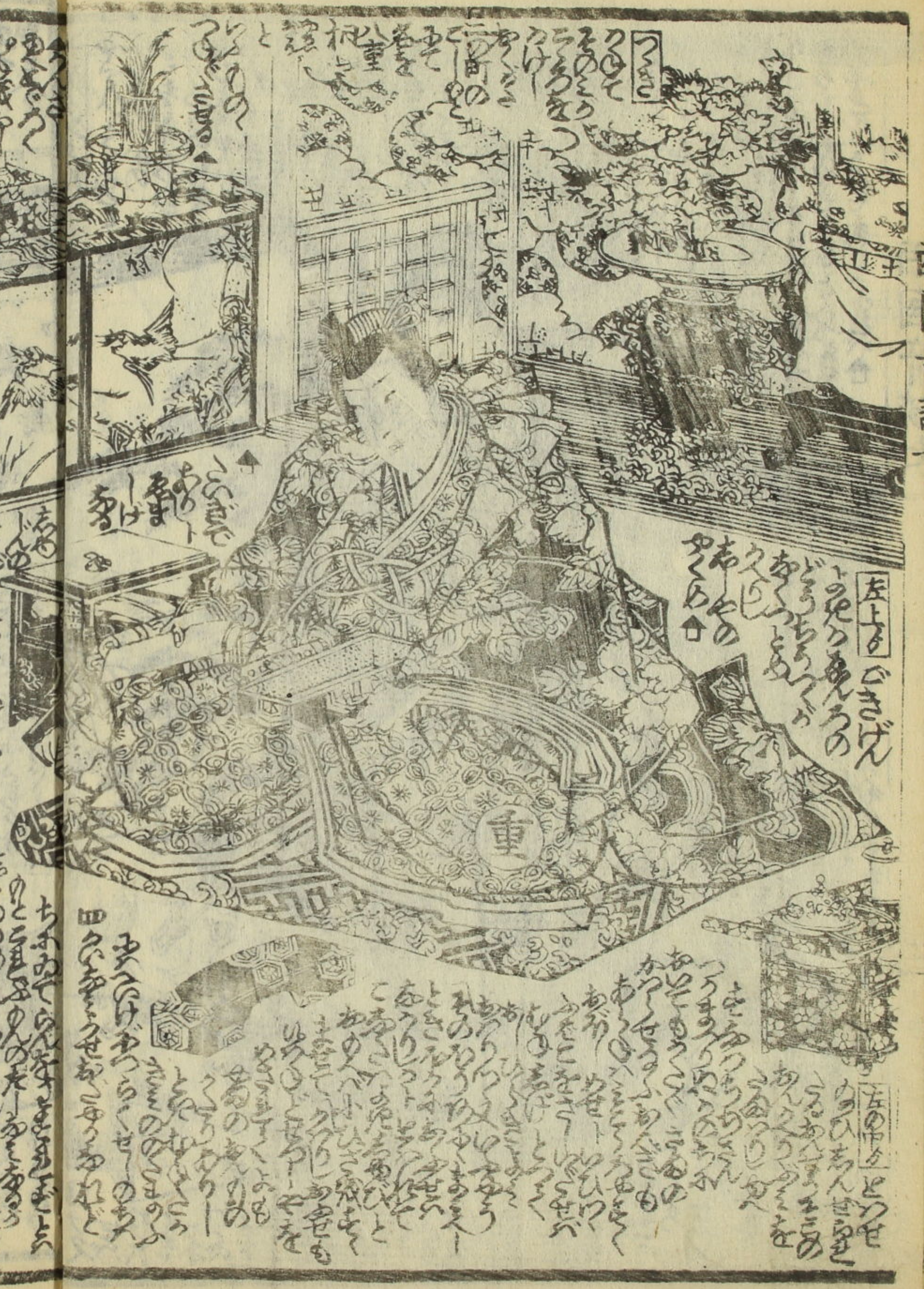
内室窓香

那須  
大右門  
高景

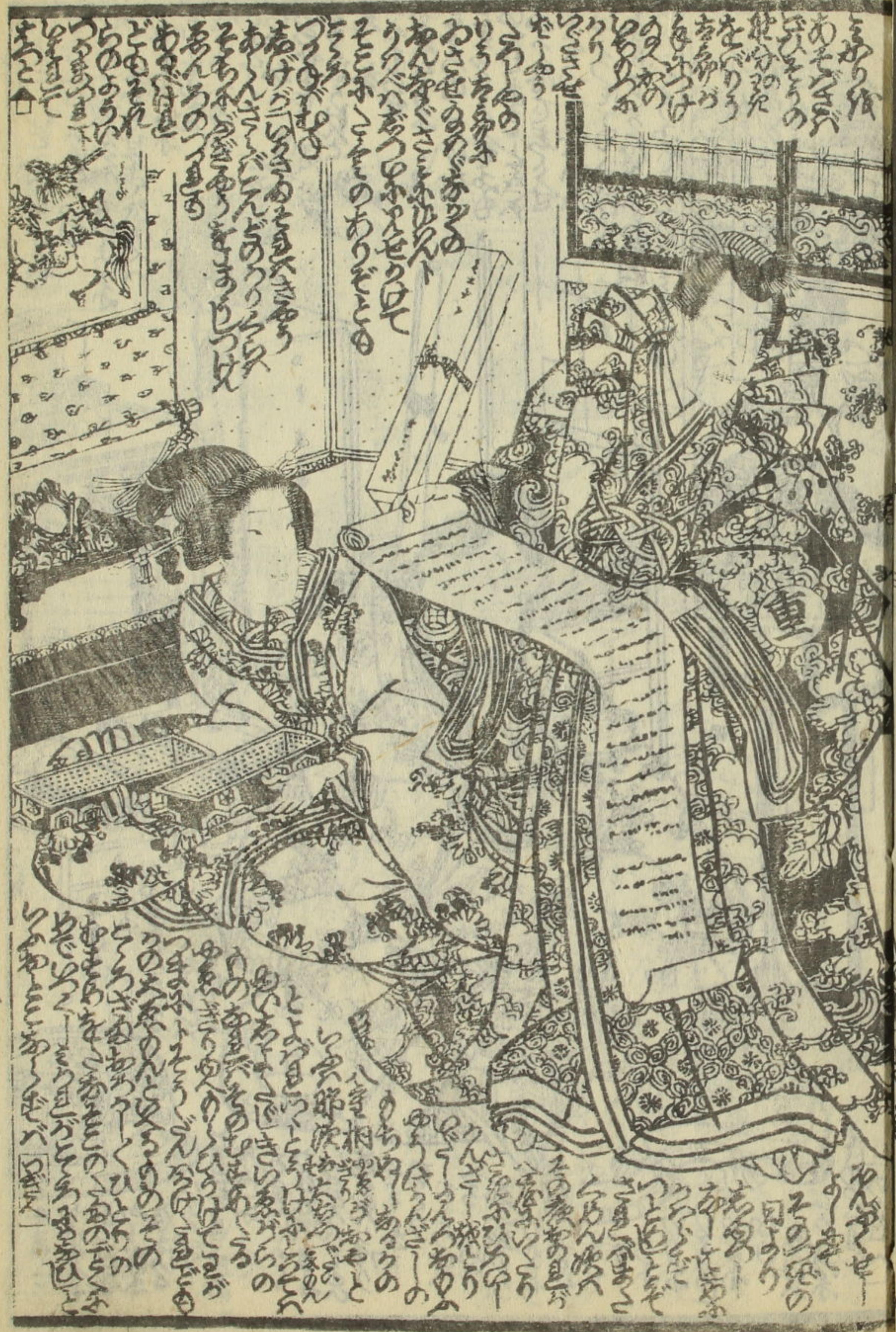


八重桐の  
召仕阿寸義









五

五



五



霧島山の林と遊獵の圖



一の巻のはらのそらの目ぼき... (Main text block on the left page, written in vertical columns from right to left.)

ついでにわとせせ... (Text block on the top right of the right page, written in vertical columns.)

その... (Text block on the bottom right of the right page, written in vertical columns.)





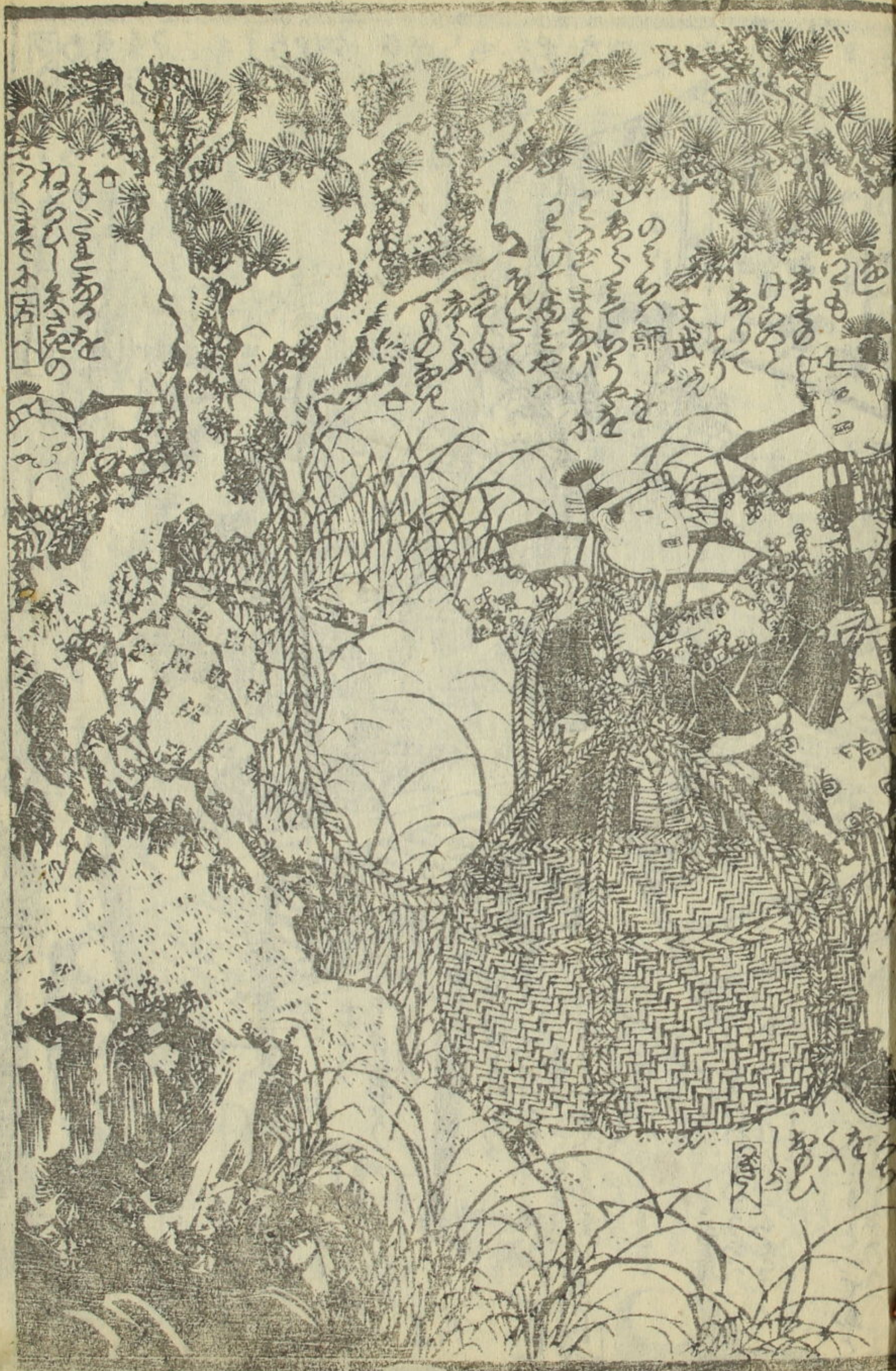


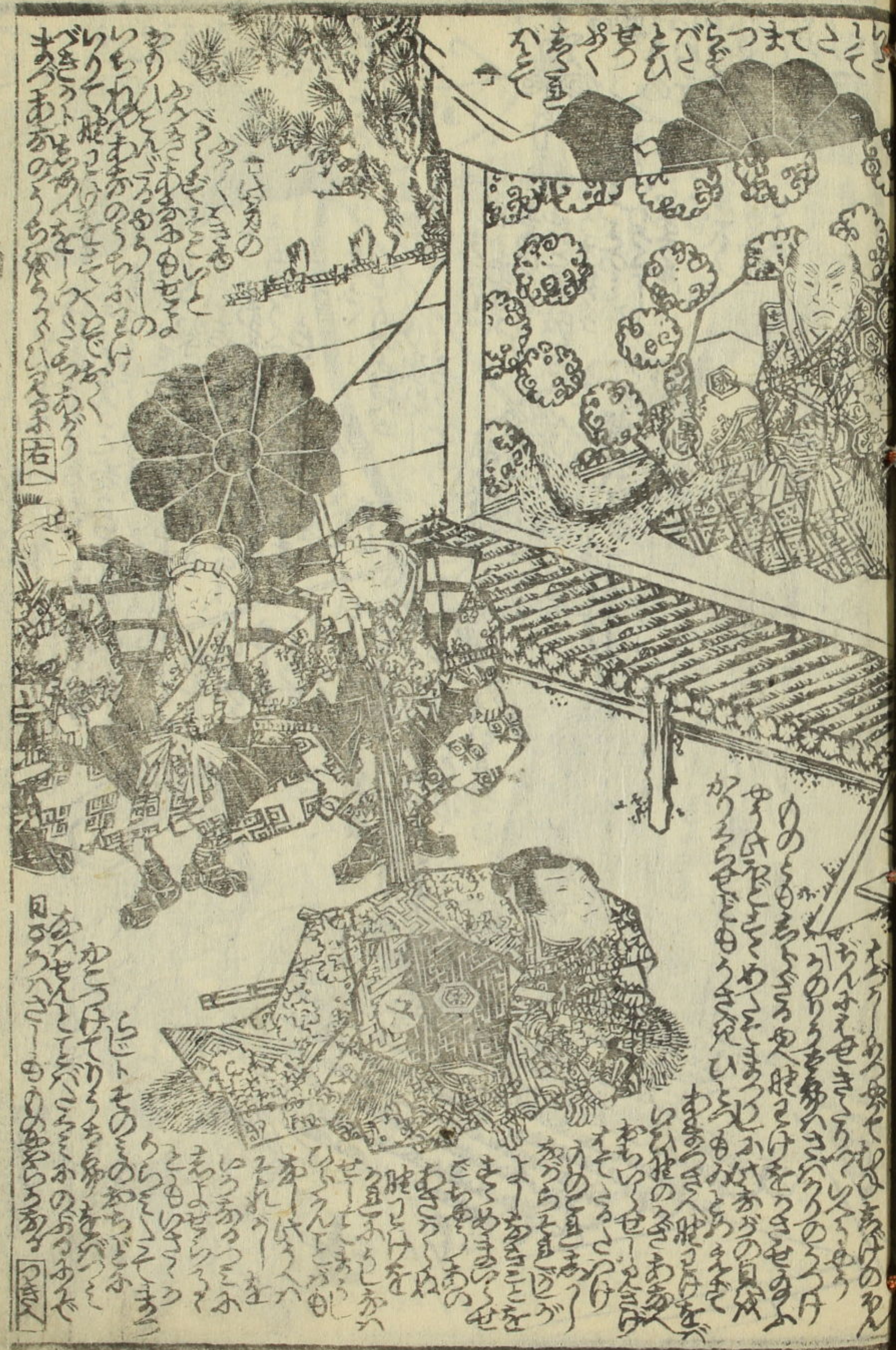
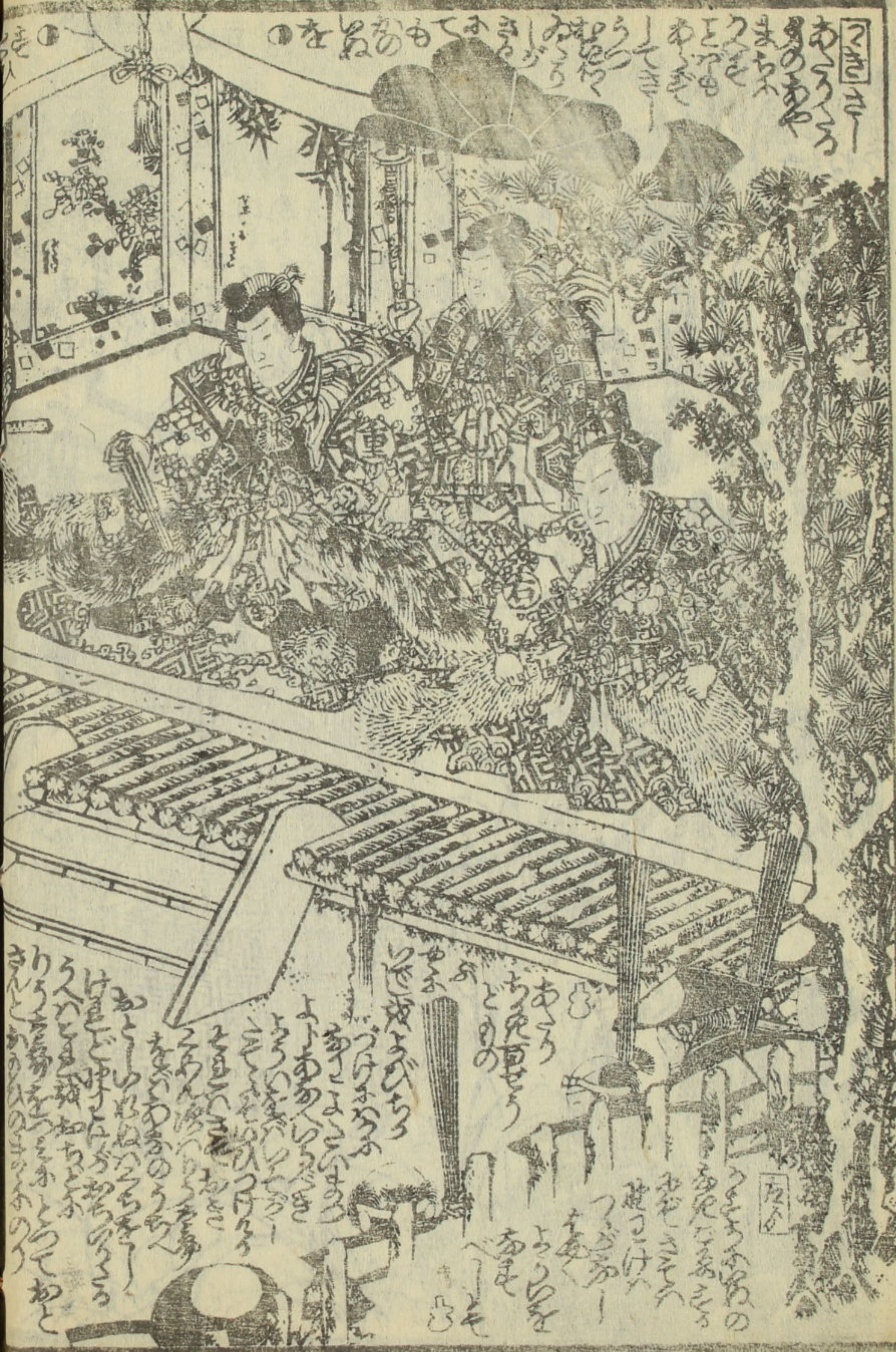
















西国奇談七

一三



西国奇談七

一三

ついでにこのあけをきかて  
いふてしうろくをあらわし  
さういふてしうろくをあらわし  
そのひともつとあらわし  
いふてしうろくをあらわし  
そのひともつとあらわし  
いふてしうろくをあらわし  
そのひともつとあらわし



あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ

あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ



あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ  
あひなまふ一たひまのあたひ

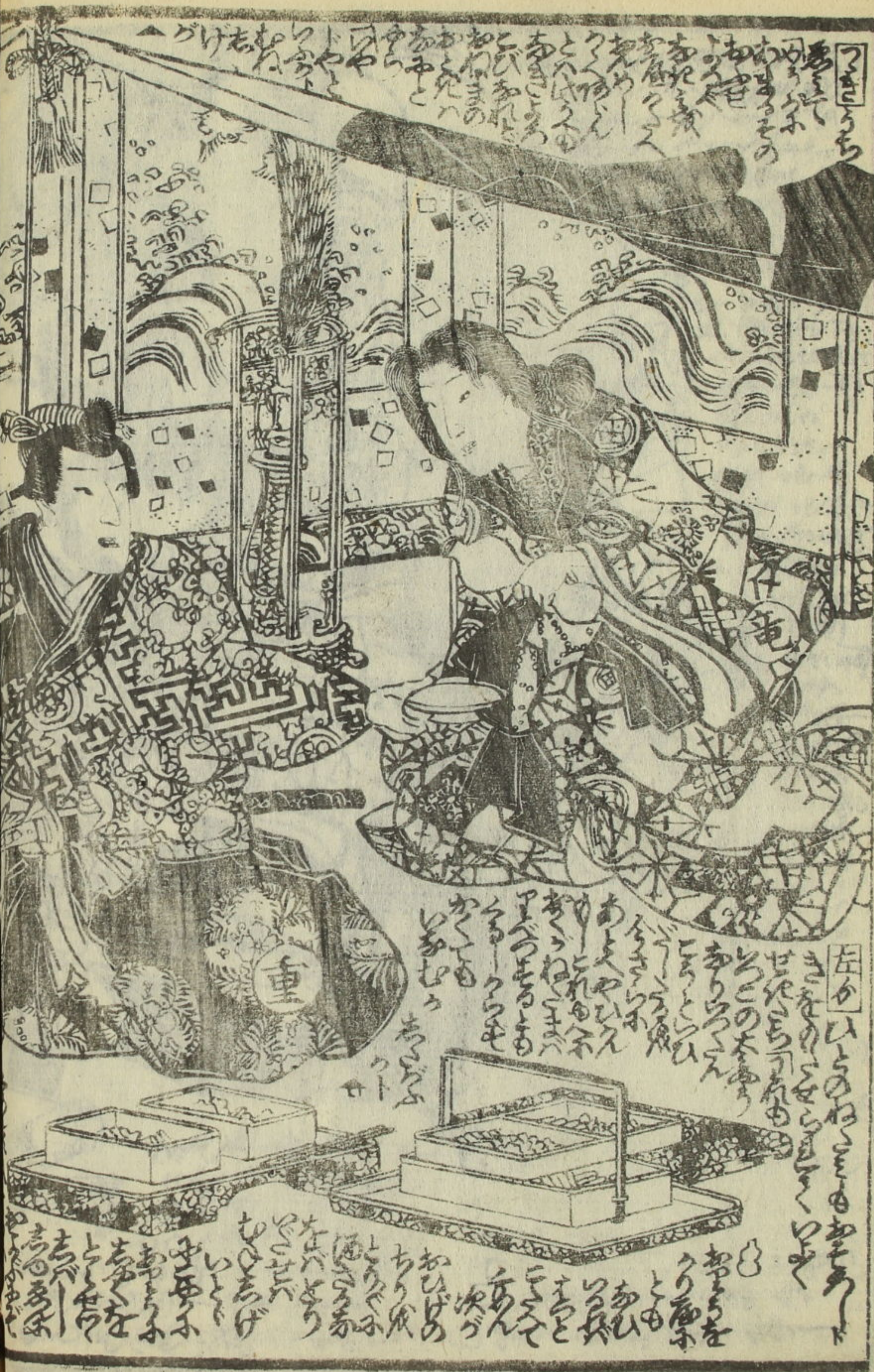
あひなまふ一たひまのあたひ

あひなまふ一たひまのあたひ

あひなまふ一たひまのあたひ

あひなまふ一たひまのあたひ





あつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの

左の  
右の  
あつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの

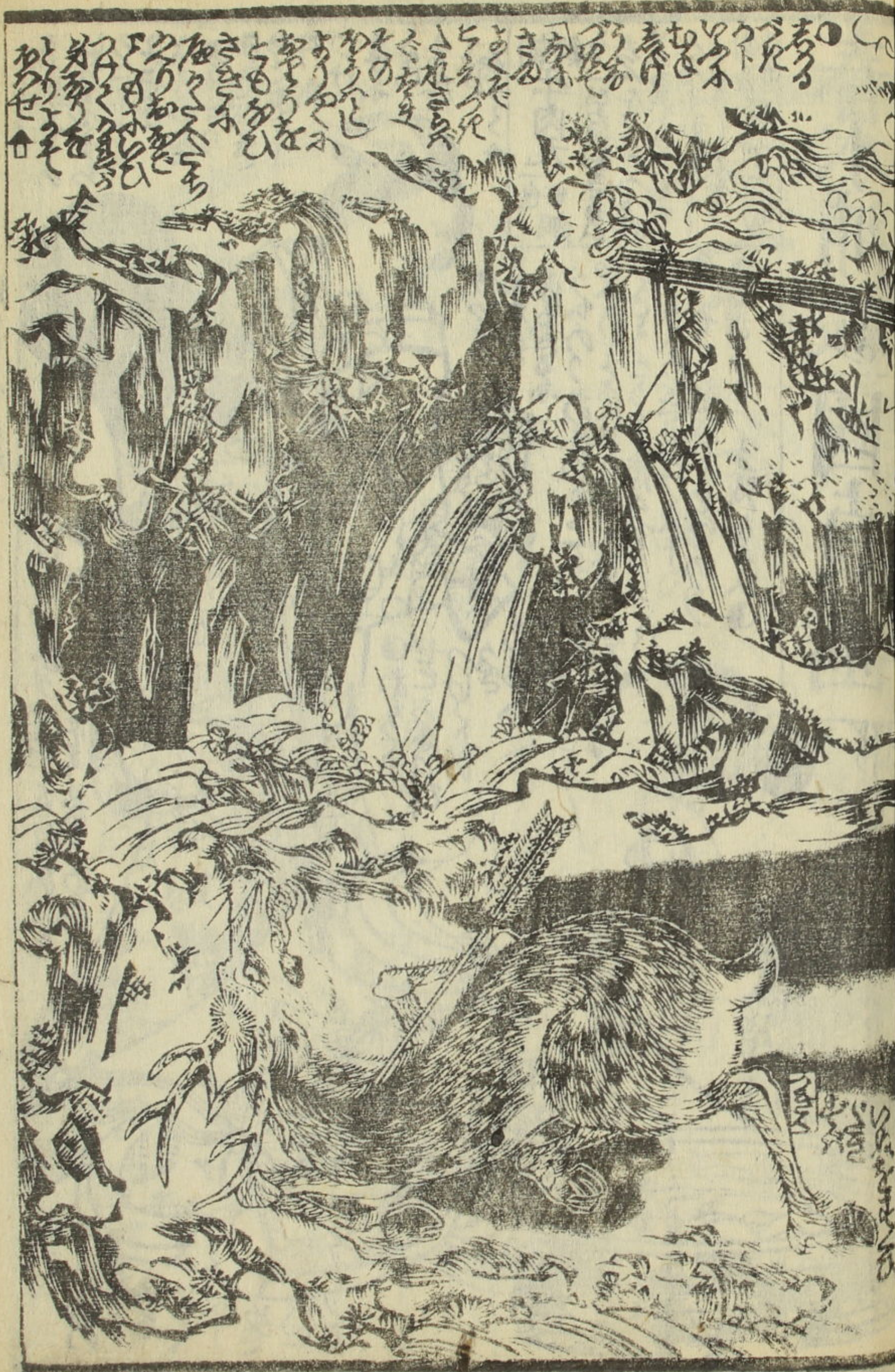
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの

あつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの



あつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの

あつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの  
おつちの



西国奇談七

六

山崎の滝

十一



# 不 禮 講

西国音談八

急死いそし。夫その久く期きのあられ咲さ死し。白しろひも失うせし。  
 櫻木さくらぎの板い上のを摺すり卷ま紙し。内うち覽らんの末すま今いま檢けんの  
 支え轉との末すまありと咲させむひね。

## 為永春水記

机つくえの上の莖かきと一ひと思おもふをかり小こ終つひまる冊か子しも。  
 早はや晚ゆふ積つりく八やち編へんの爰こゝ少すくハ次つぎ郎らう宗そう重じゆうかか  
 不ぶ礼れい講かうの一段いちだん小こ花はなを咲させし情こころあれども下げ戸こ小  
 酒さけ樽づか上の戸こ小こ團だん子し甘あまいと辛からいの鹽しほ梅うめが齧か舌したる  
 腹はら藁わらあから瓢ひょう簞せんくら出でと午まの春はるのか笑わら草くさを

# 春水補綴 國貞画

鮮牛肉九せん百ひゃく銅どう  
 対たい崎さき氏し製せい



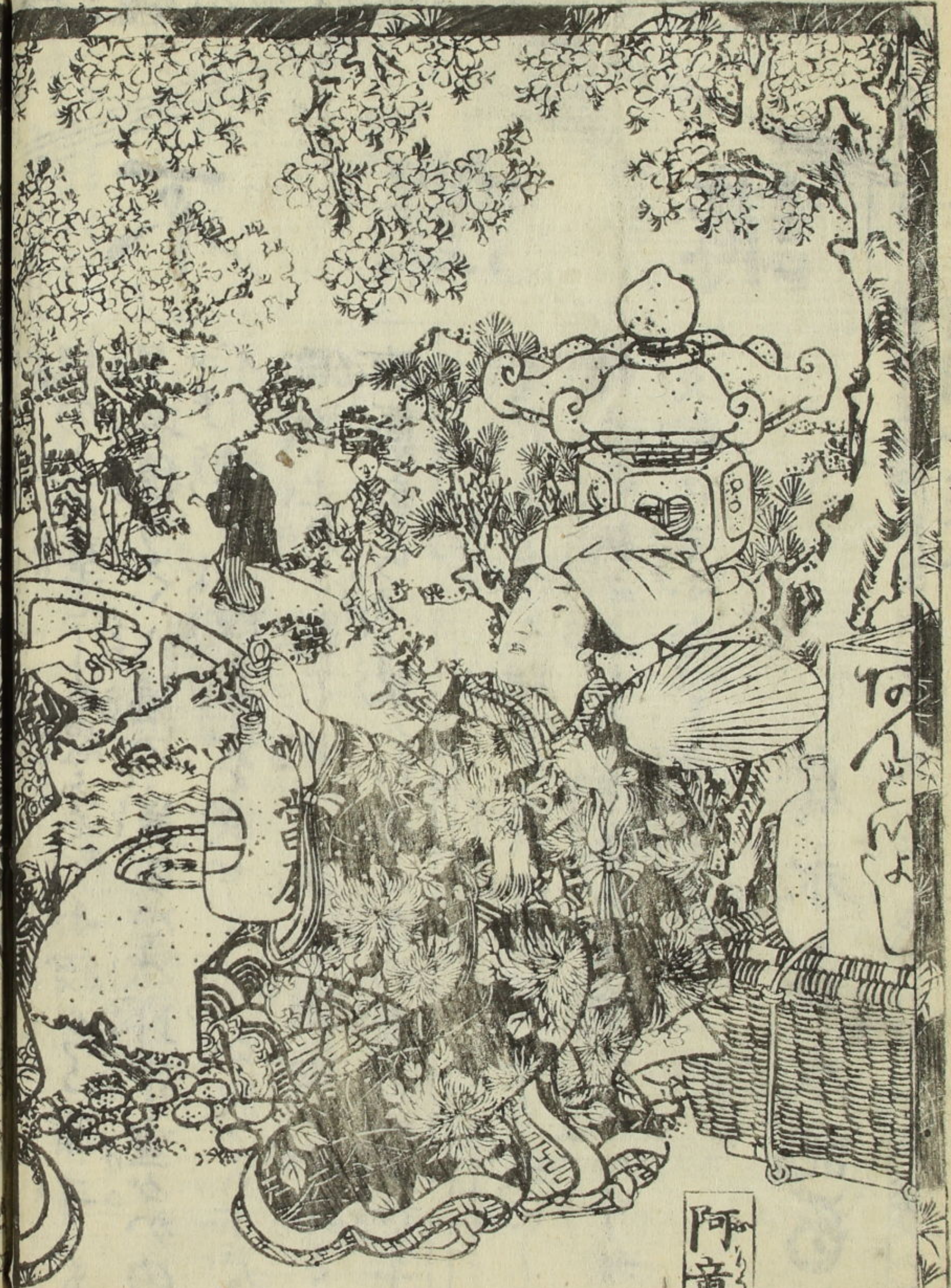
西国音談七

八編の

秋風

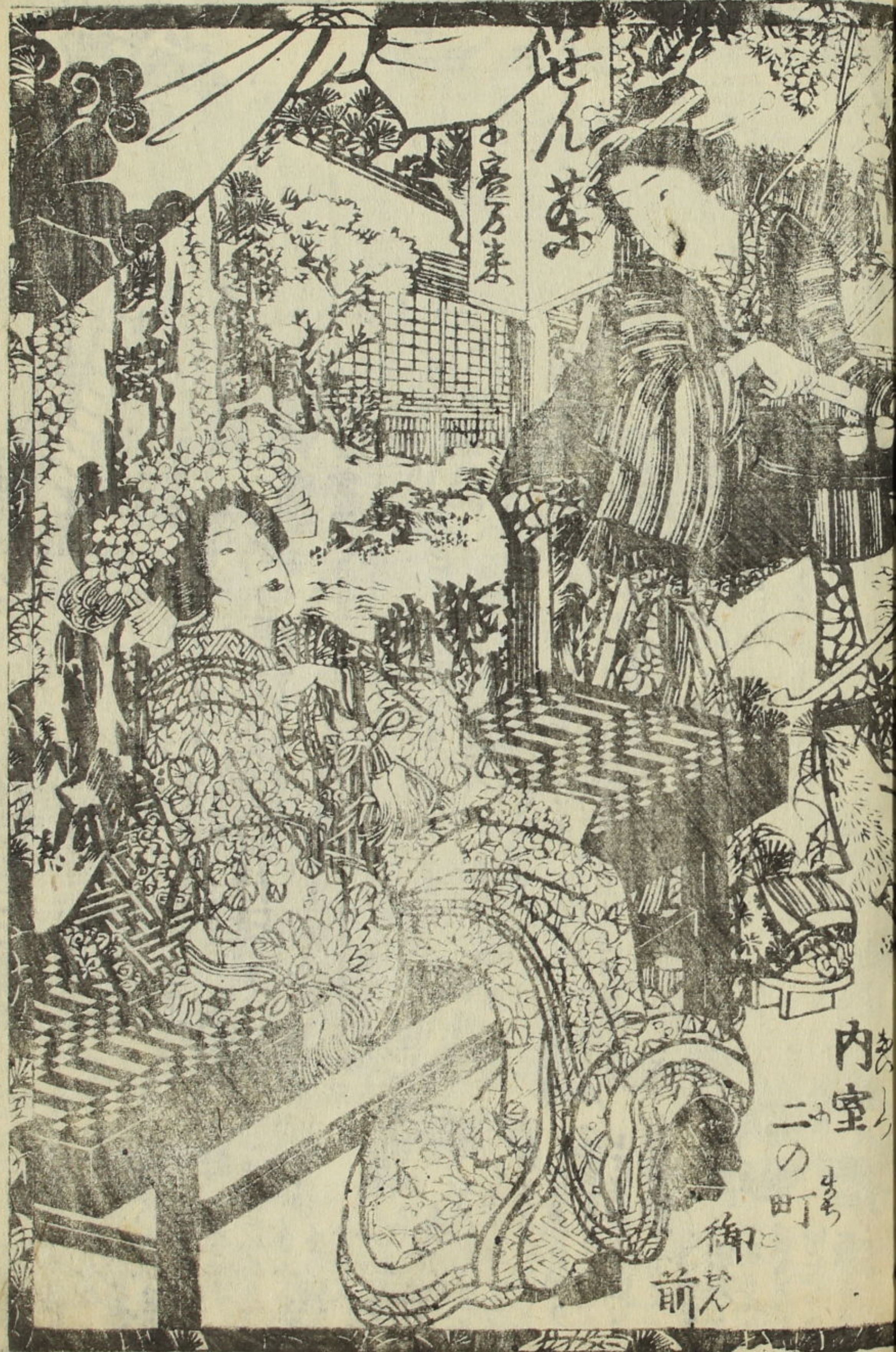


虚井



阿竜

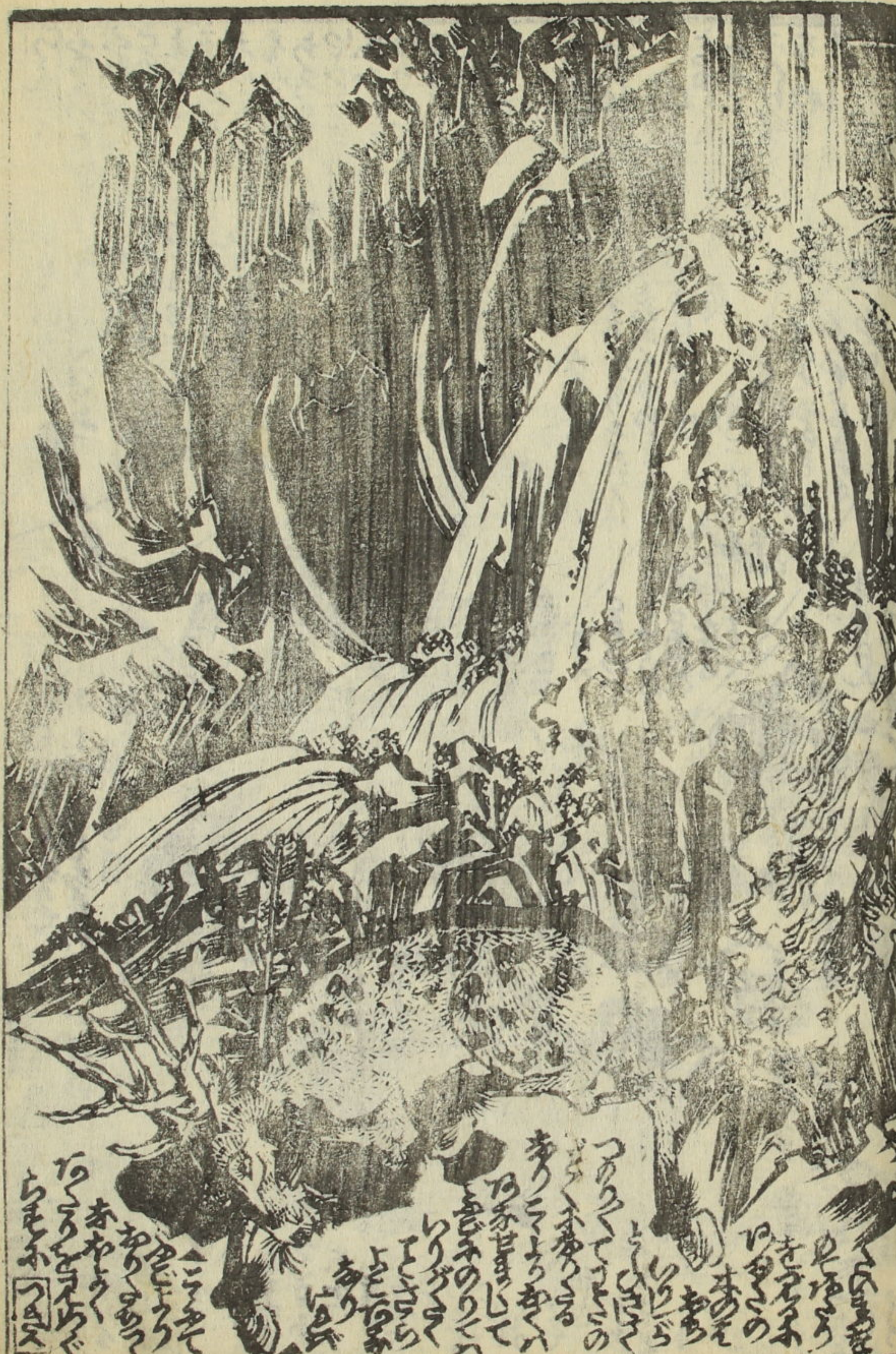
西国寺



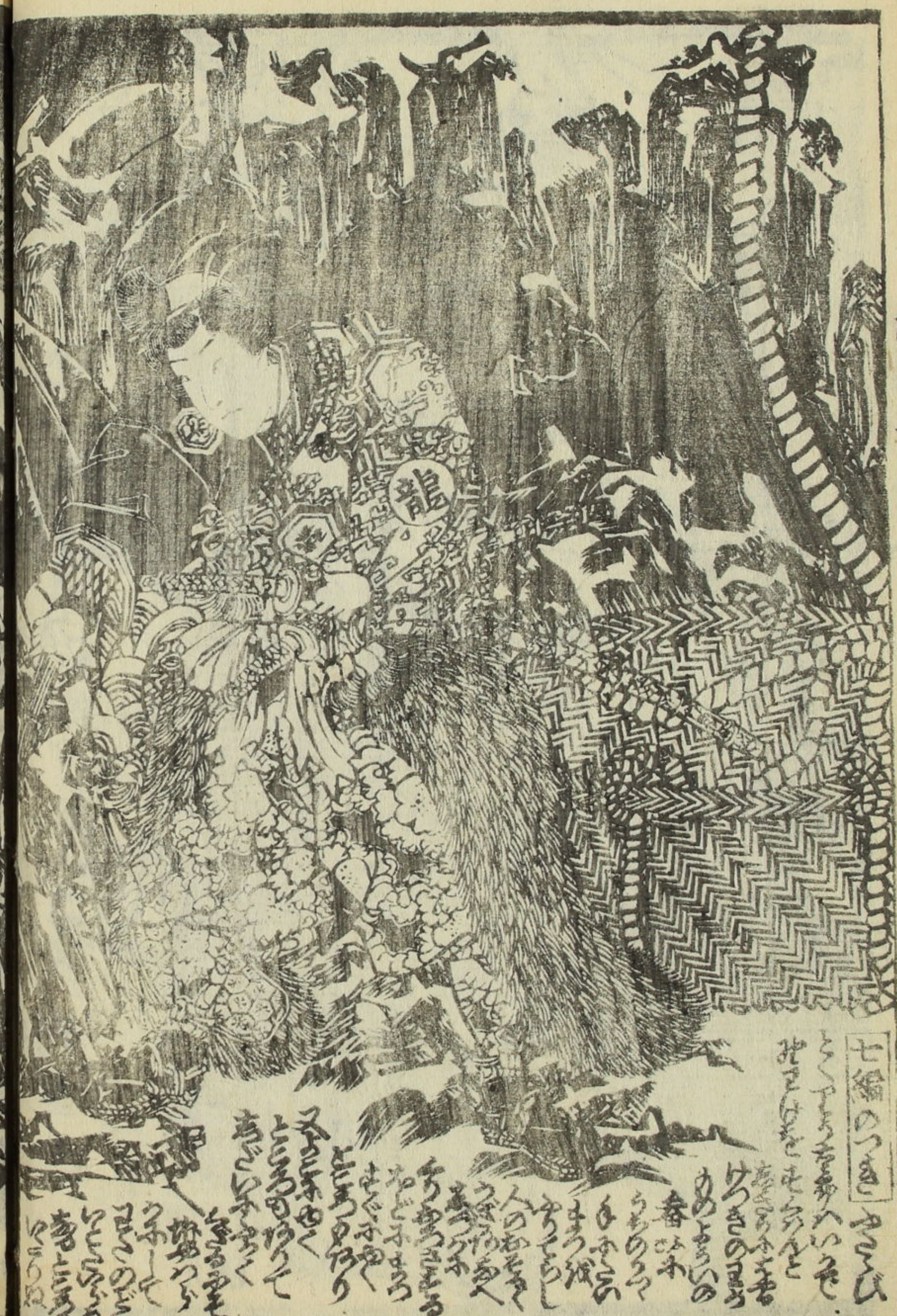
内室  
二の町  
御前



那須次郎  
宗重



此の山は  
 昔より  
 名高く  
 草木の  
 種類多  
 かりし  
 といは  
 れたり  
 今も  
 昔も  
 変わら  
 ずなり  
 といは  
 れたり  
 此の  
 山は  
 昔より  
 名高く  
 草木の  
 種類多  
 かりし  
 といは  
 れたり  
 今も  
 昔も  
 変わら  
 ずなり  
 といは  
 れたり



此の山は  
 昔より  
 名高く  
 草木の  
 種類多  
 かりし  
 といは  
 れたり  
 今も  
 昔も  
 変わら  
 ずなり  
 といは  
 れたり  
 此の  
 山は  
 昔より  
 名高く  
 草木の  
 種類多  
 かりし  
 といは  
 れたり  
 今も  
 昔も  
 変わら  
 ずなり  
 といは  
 れたり

西  
 山  
 記  
 卷  
 八

西  
 山  
 記  
 卷  
 八



①あまの  
あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

西国奇談

四



あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

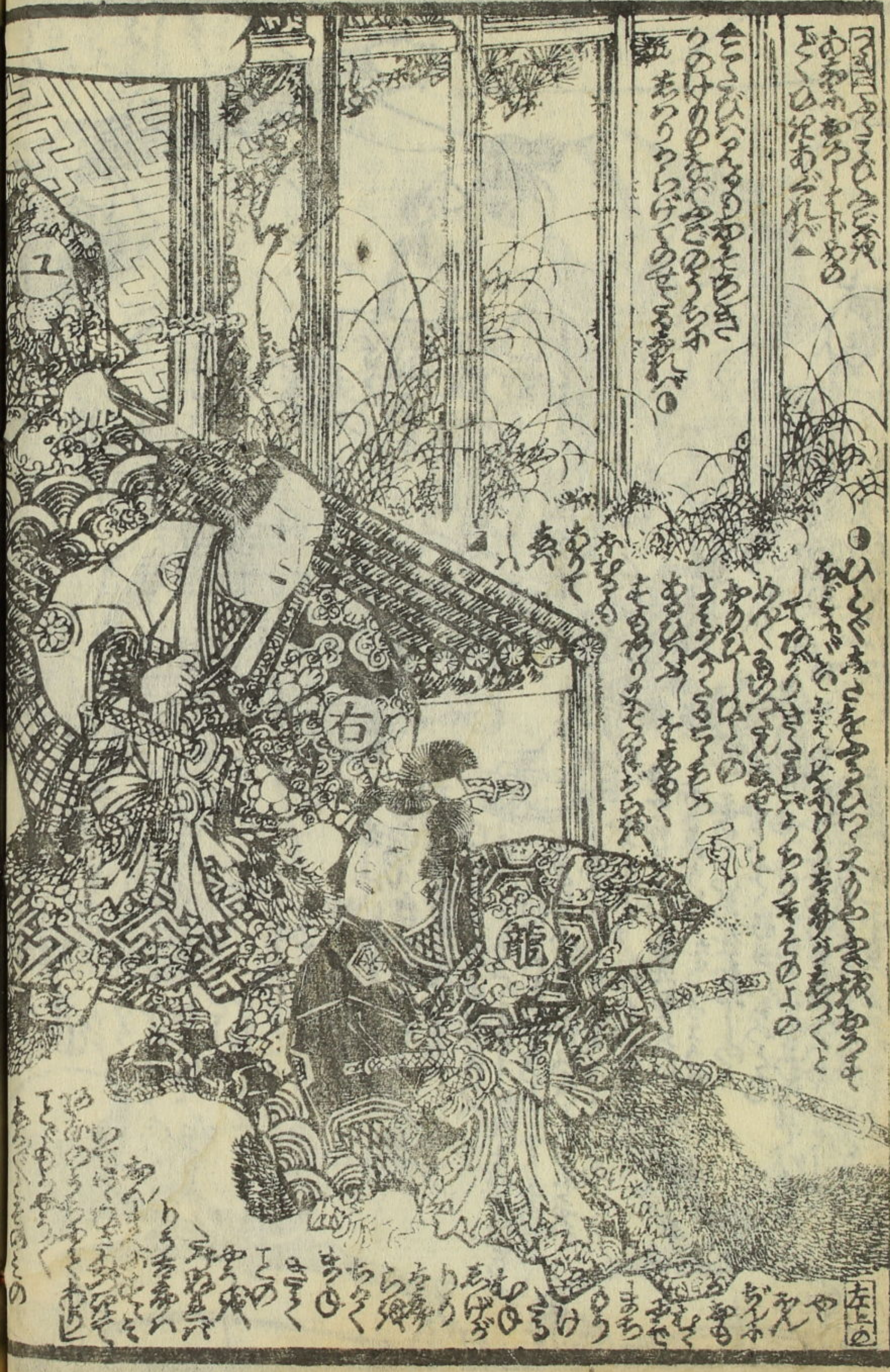
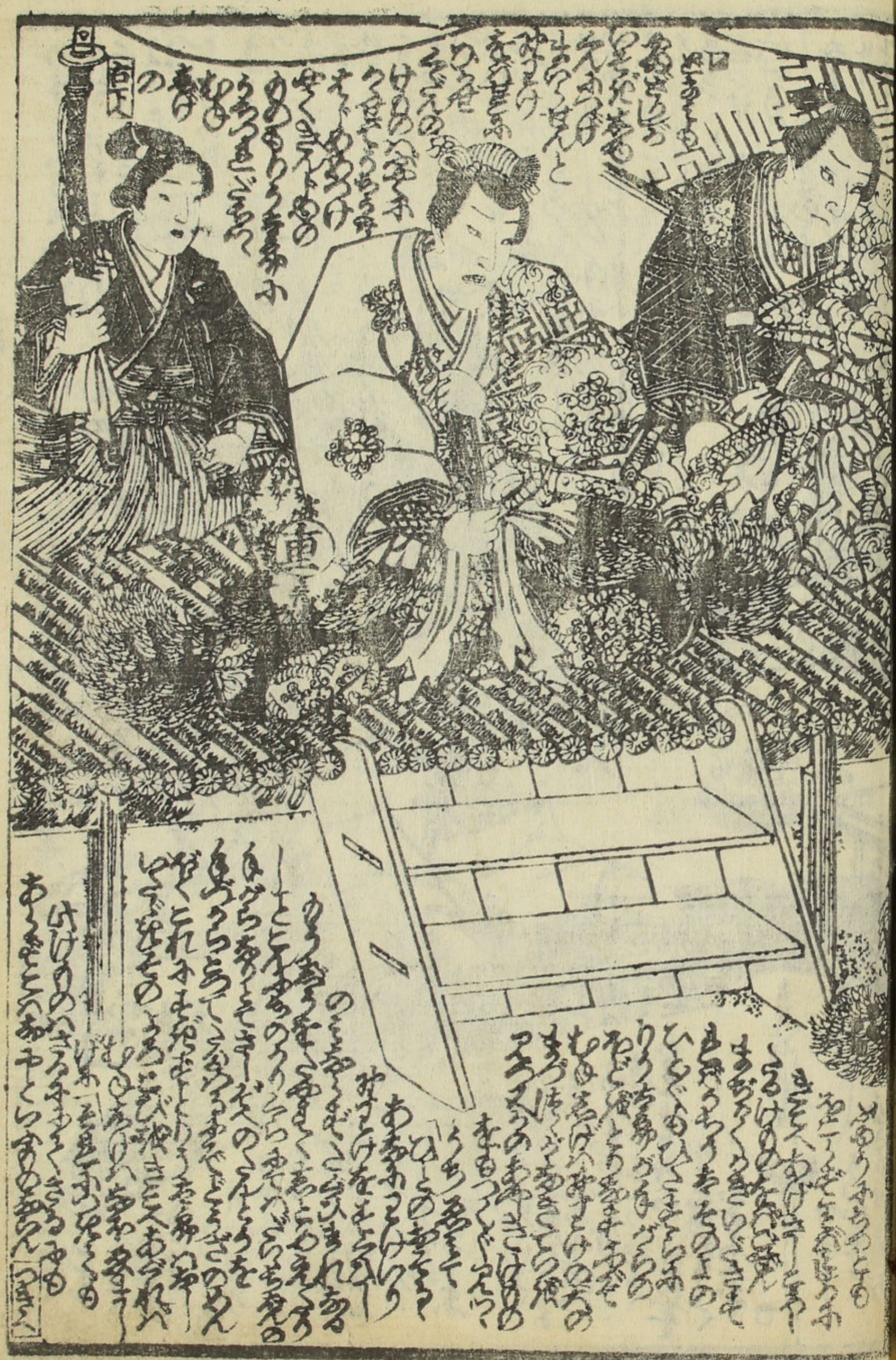
あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

あまのあまの  
あまのあまの  
あまのあまの

西国奇談

四



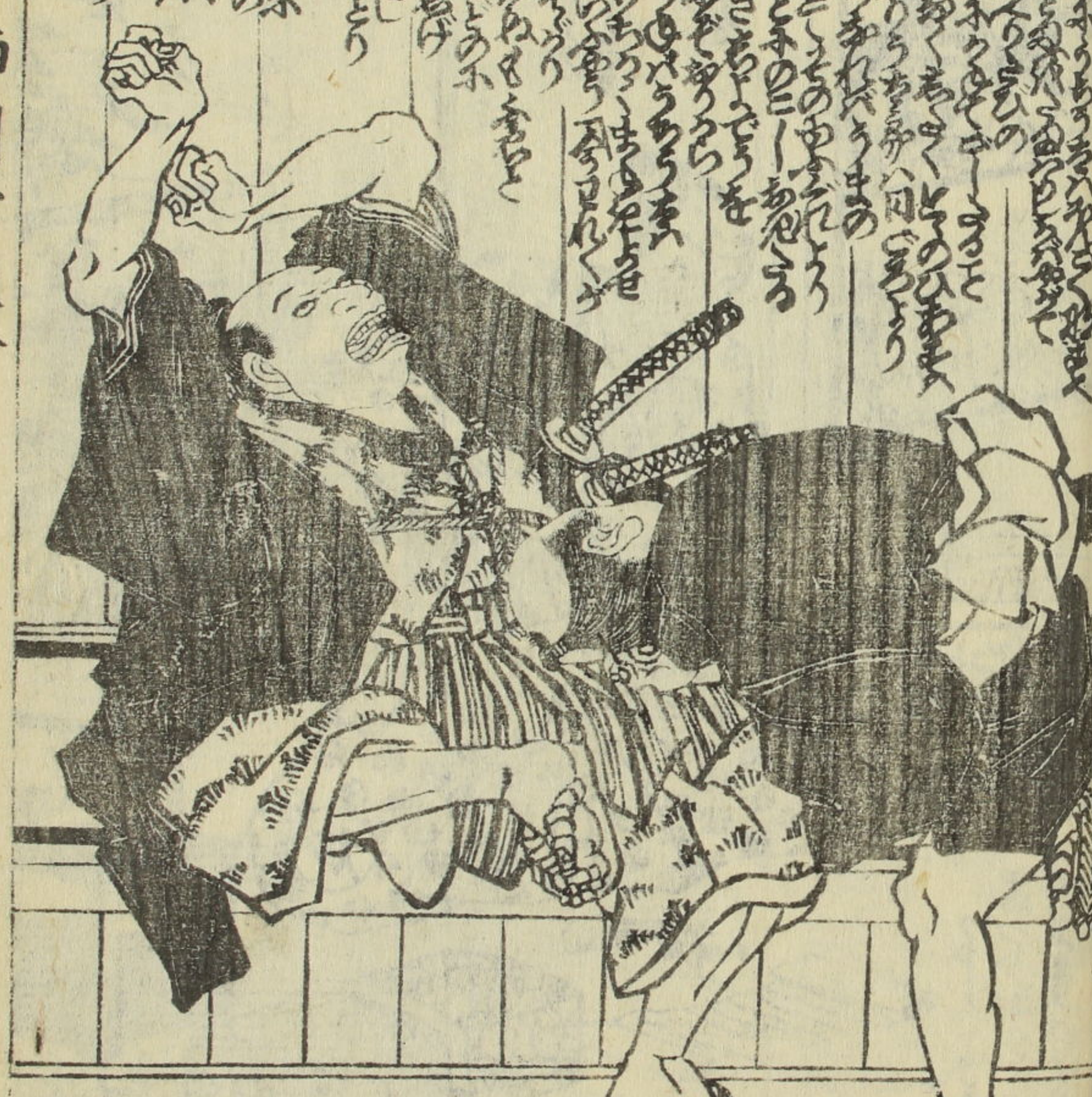








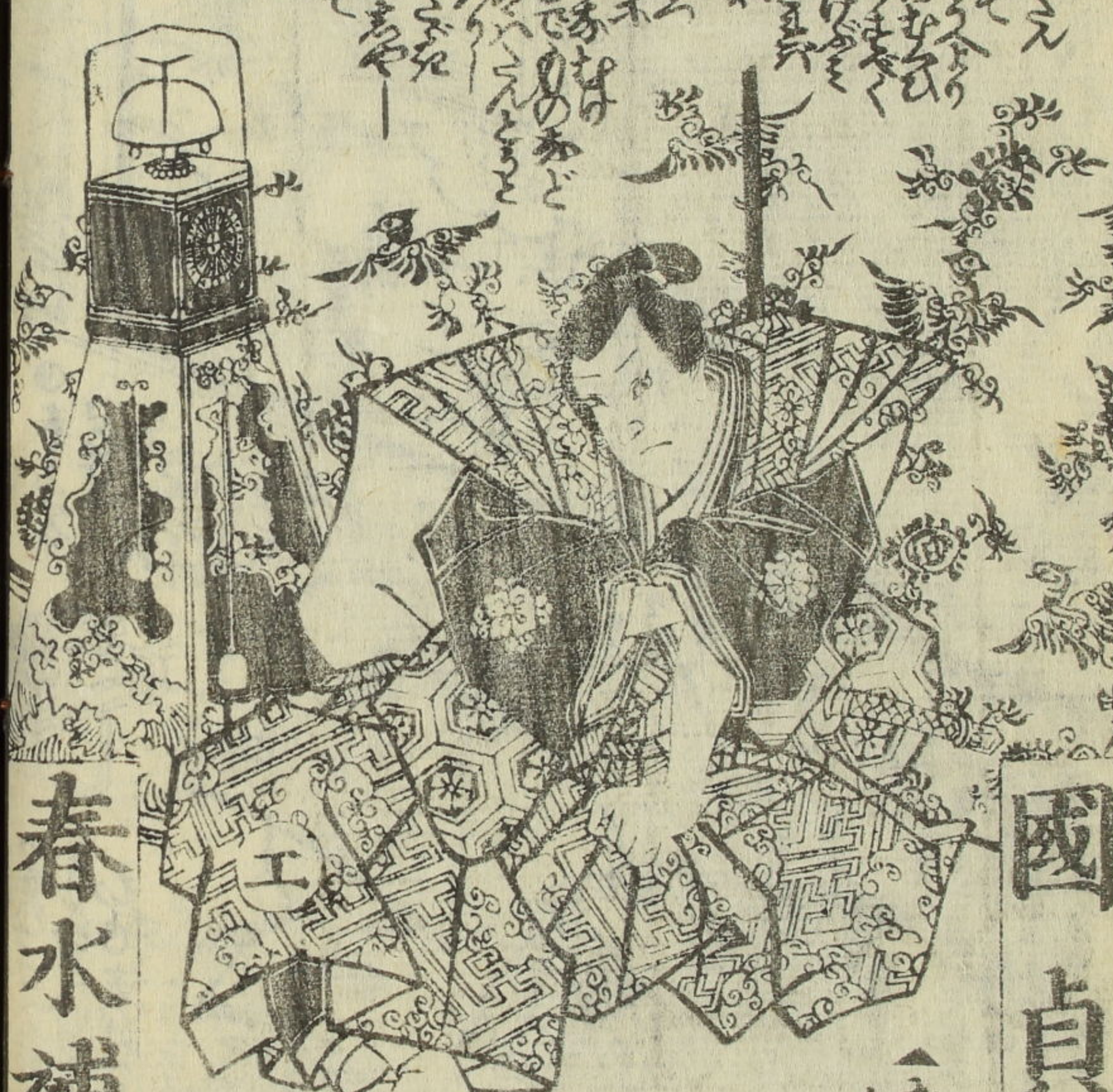
五の... (Vertical text column on the top left of the page)



... (Vertical text column at the bottom of the page)

百目新...

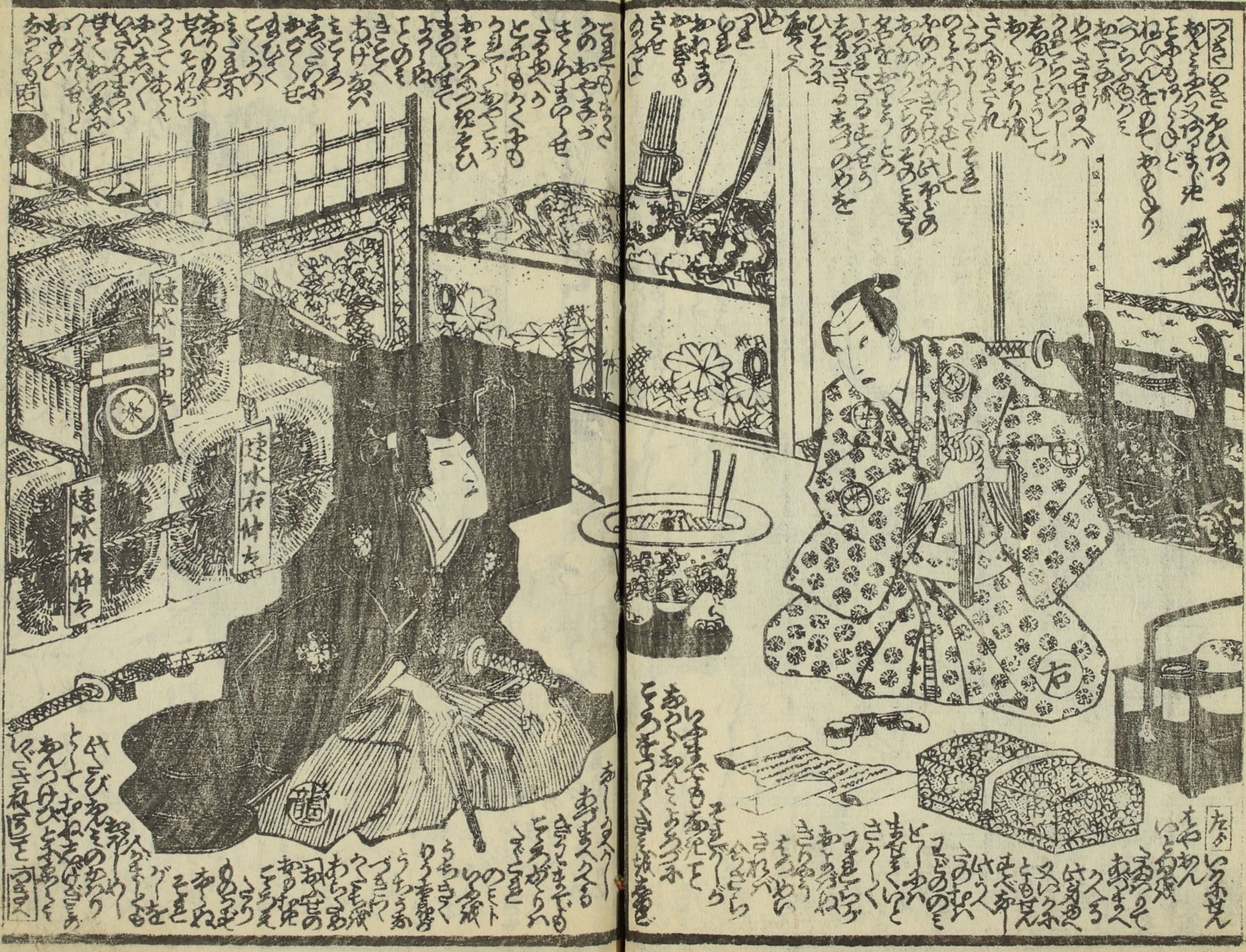
... (Vertical text column on the top right of the page)



春水補綴

國貞画

... (Vertical text column at the bottom right of the page)



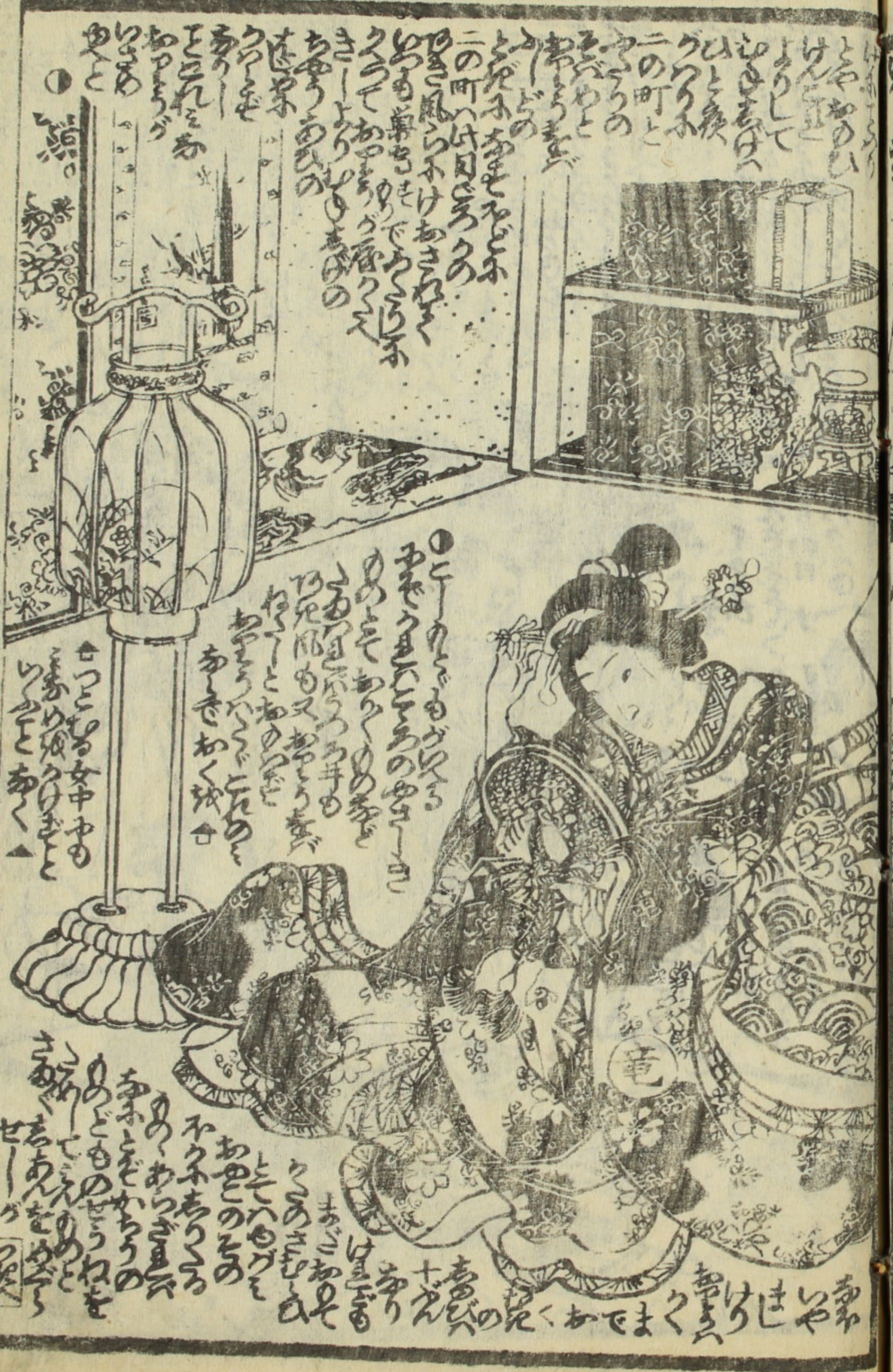
あつちのあたりに  
うのおやまう  
まらぬのいせ  
うまあう  
とちのうくもの  
うまうあやう  
おまうあやう  
まのうあやう  
うまうあやう  
まのうあやう  
うまうあやう  
まのうあやう  
うまうあやう  
まのうあやう

あつちのあたりに  
うのおやまう  
まらぬのいせ  
うまあう  
とちのうくもの  
うまうあやう  
おまうあやう  
まのうあやう  
うまうあやう  
まのうあやう  
うまうあやう  
まのうあやう  
うまうあやう  
まのうあやう

あつちのあたりに  
うのおやまう  
まらぬのいせ  
うまあう  
とちのうくもの  
うまうあやう  
おまうあやう  
まのうあやう  
うまうあやう  
まのうあやう  
うまうあやう  
まのうあやう  
うまうあやう  
まのうあやう

あつちのあたりに  
うのおやまう  
まらぬのいせ  
うまあう  
とちのうくもの  
うまうあやう  
おまうあやう  
まのうあやう  
うまうあやう  
まのうあやう  
うまうあやう  
まのうあやう  
うまうあやう  
まのうあやう







石園行状

十五

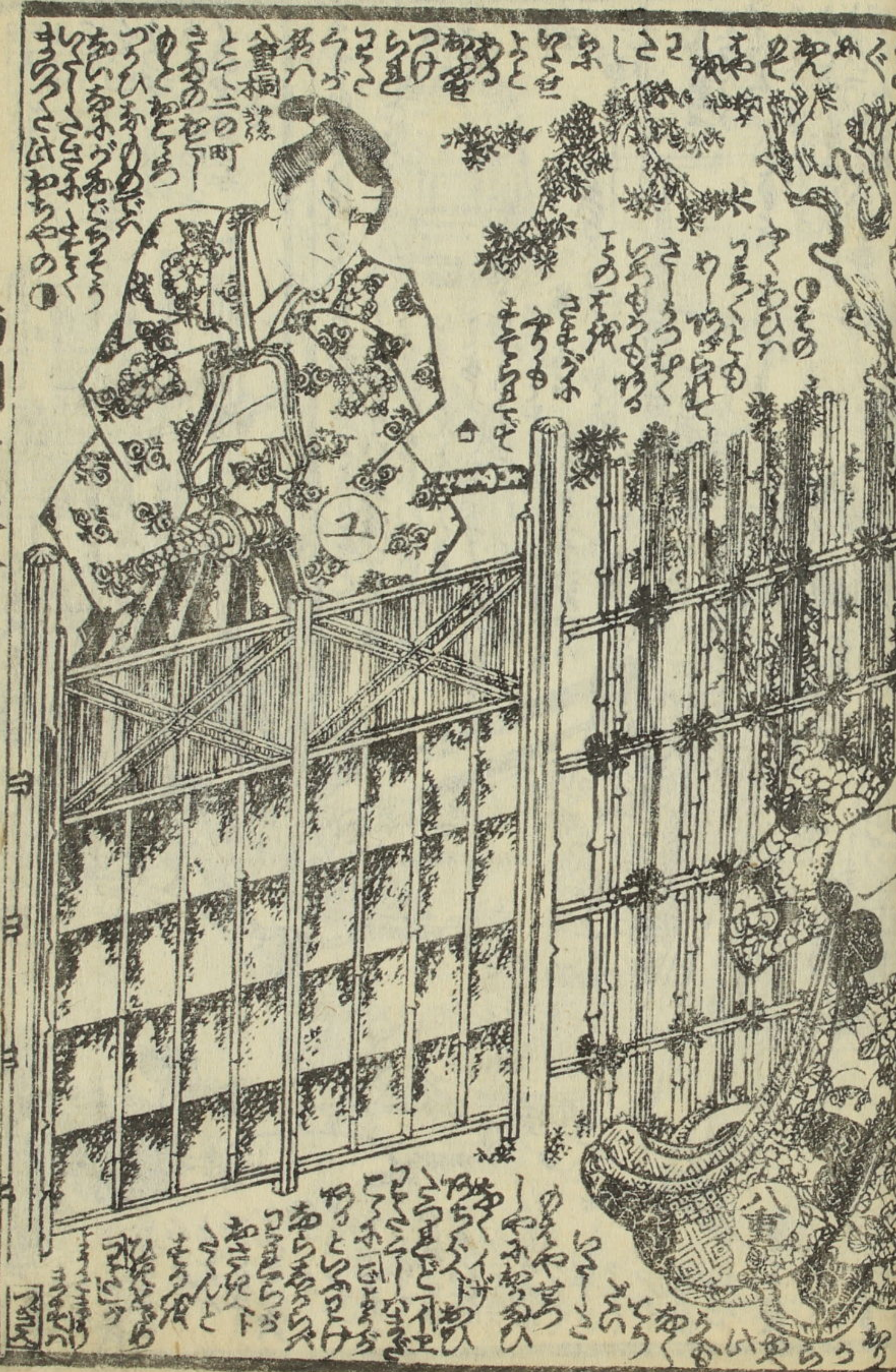


十六



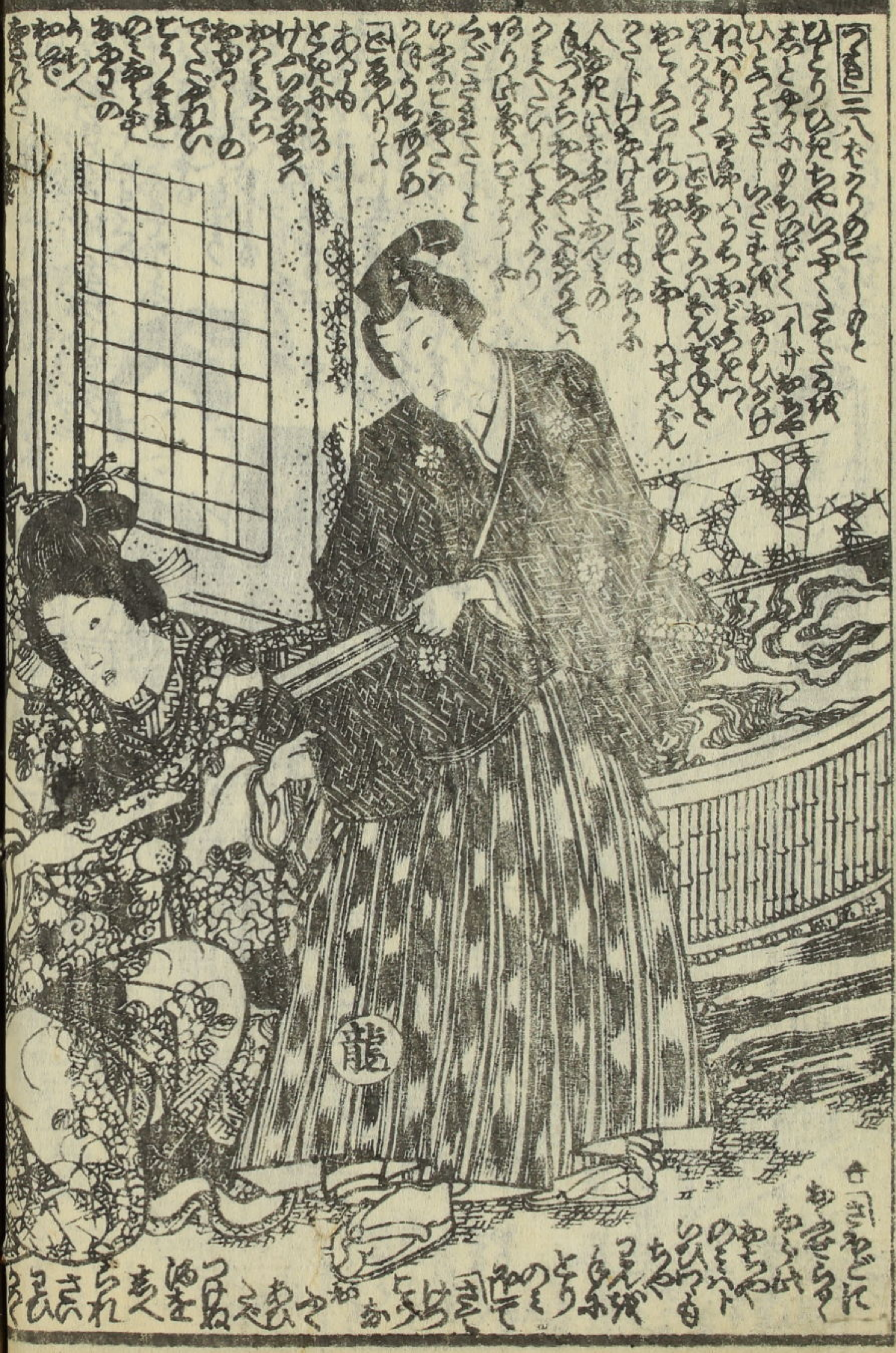






西国に渡つて来た。彼は、この国を、よく見たい。と、思つた。彼は、この国を、よく見たい。と、思つた。彼は、この国を、よく見たい。と、思つた。

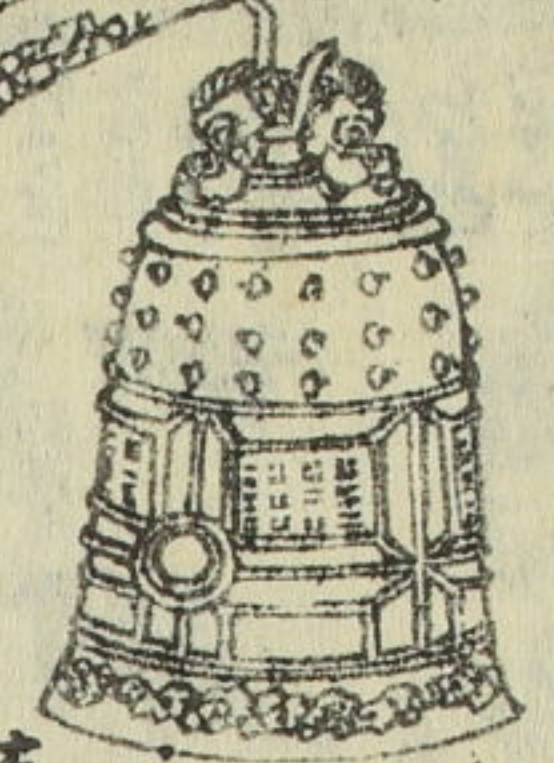
彼は、この国を、よく見たい。と、思つた。彼は、この国を、よく見たい。と、思つた。彼は、この国を、よく見たい。と、思つた。



西国に渡つて来た。彼女は、この国を、よく見たい。と、思つた。彼女は、この国を、よく見たい。と、思つた。彼女は、この国を、よく見たい。と、思つた。

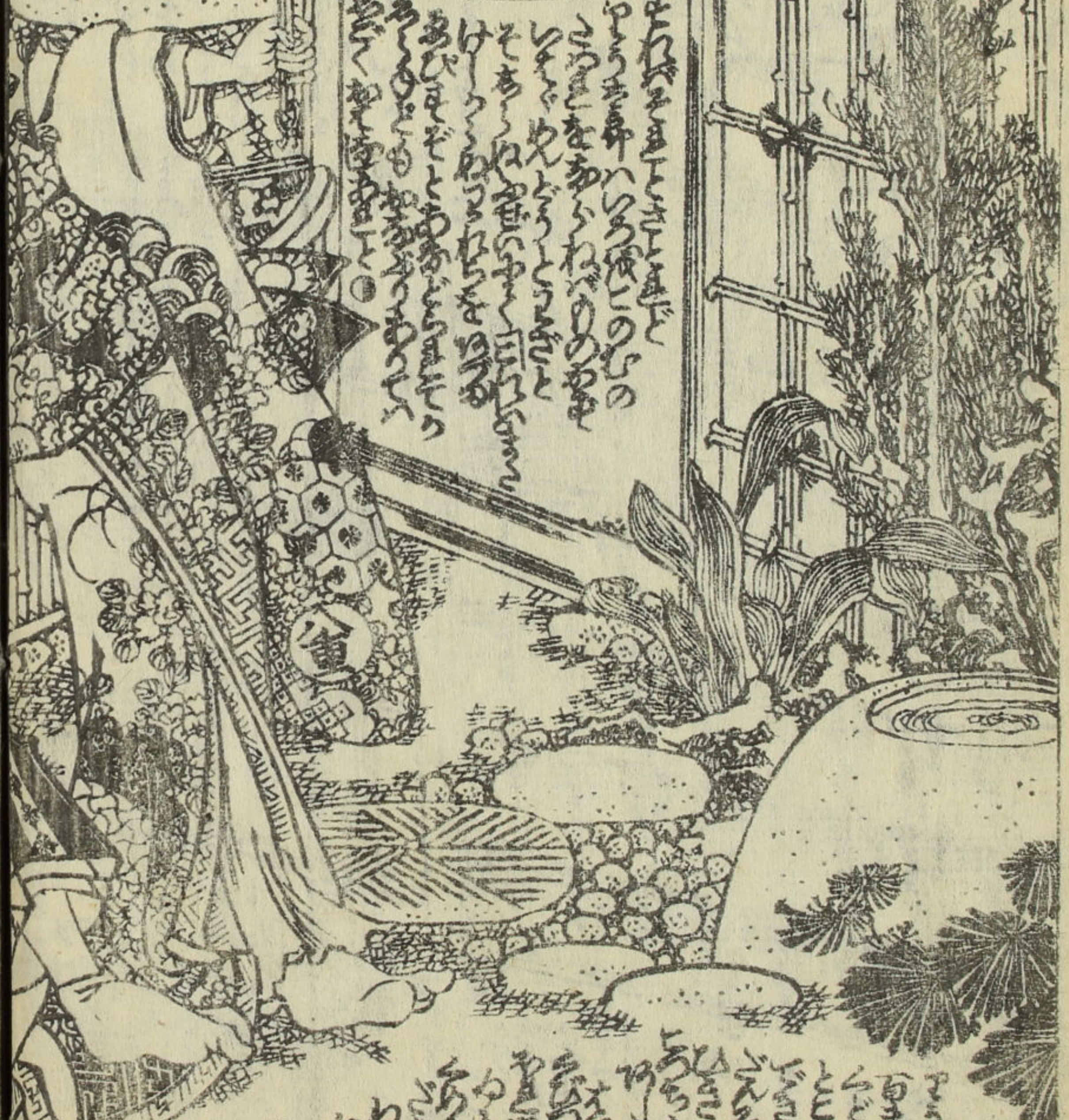
龍。この女は、西国に渡つて来た。彼女は、この国を、よく見たい。と、思つた。彼女は、この国を、よく見たい。と、思つた。彼女は、この国を、よく見たい。と、思つた。

まじりてあはれ  
まじりてあはれ  
まじりてあはれ  
まじりてあはれ  
まじりてあはれ



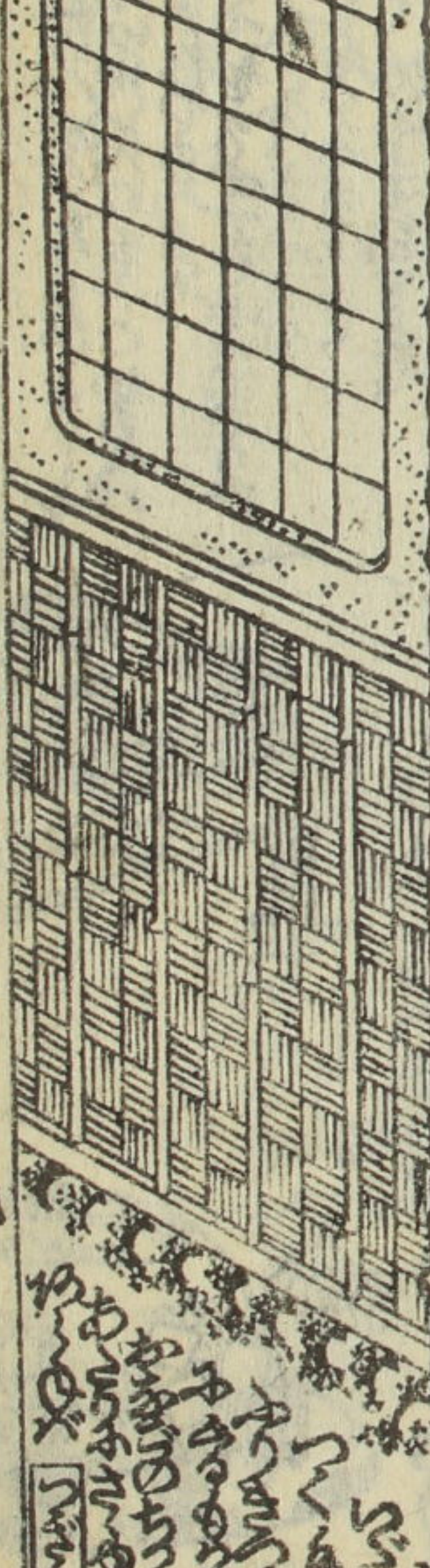
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ

あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ



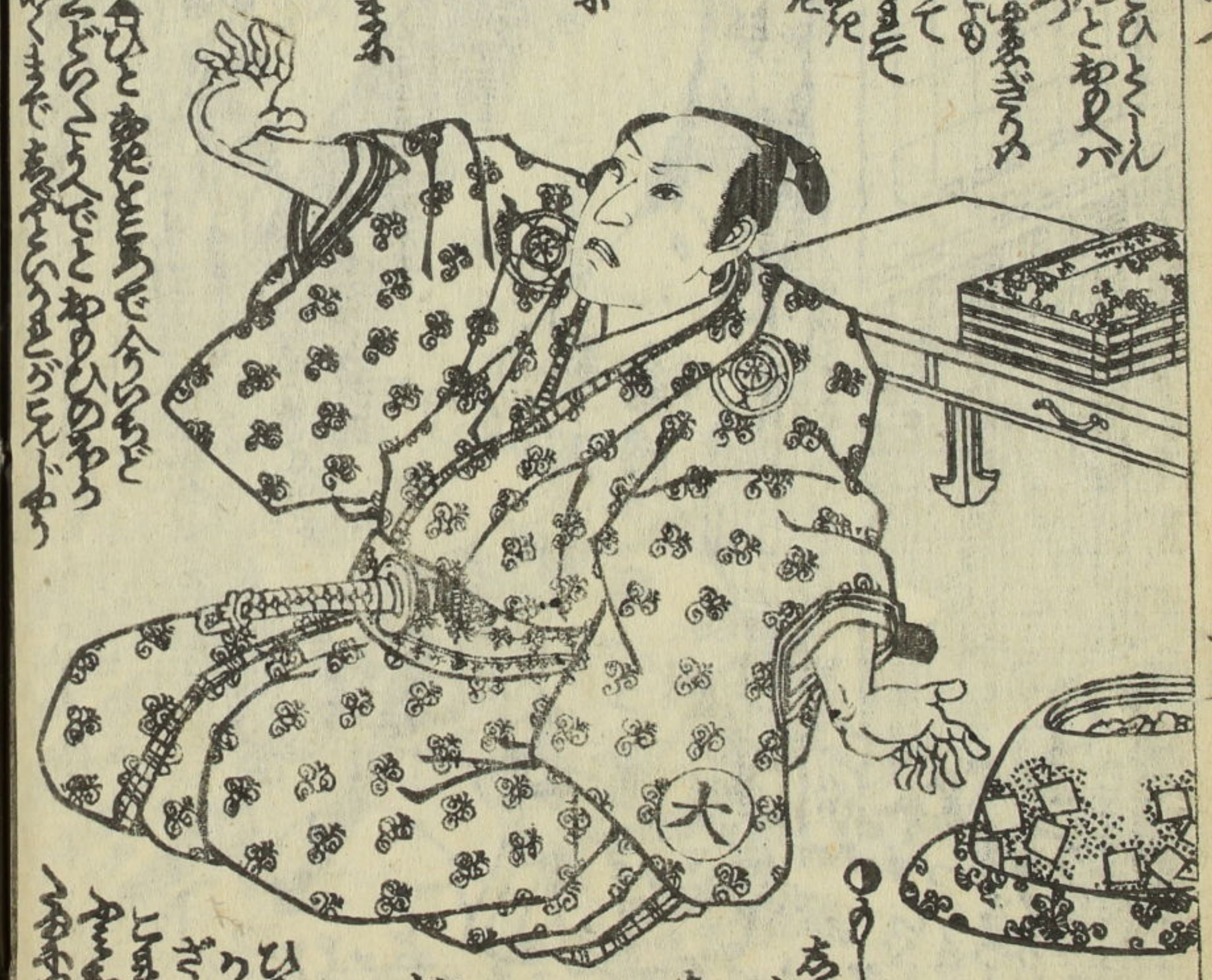
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ

あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ



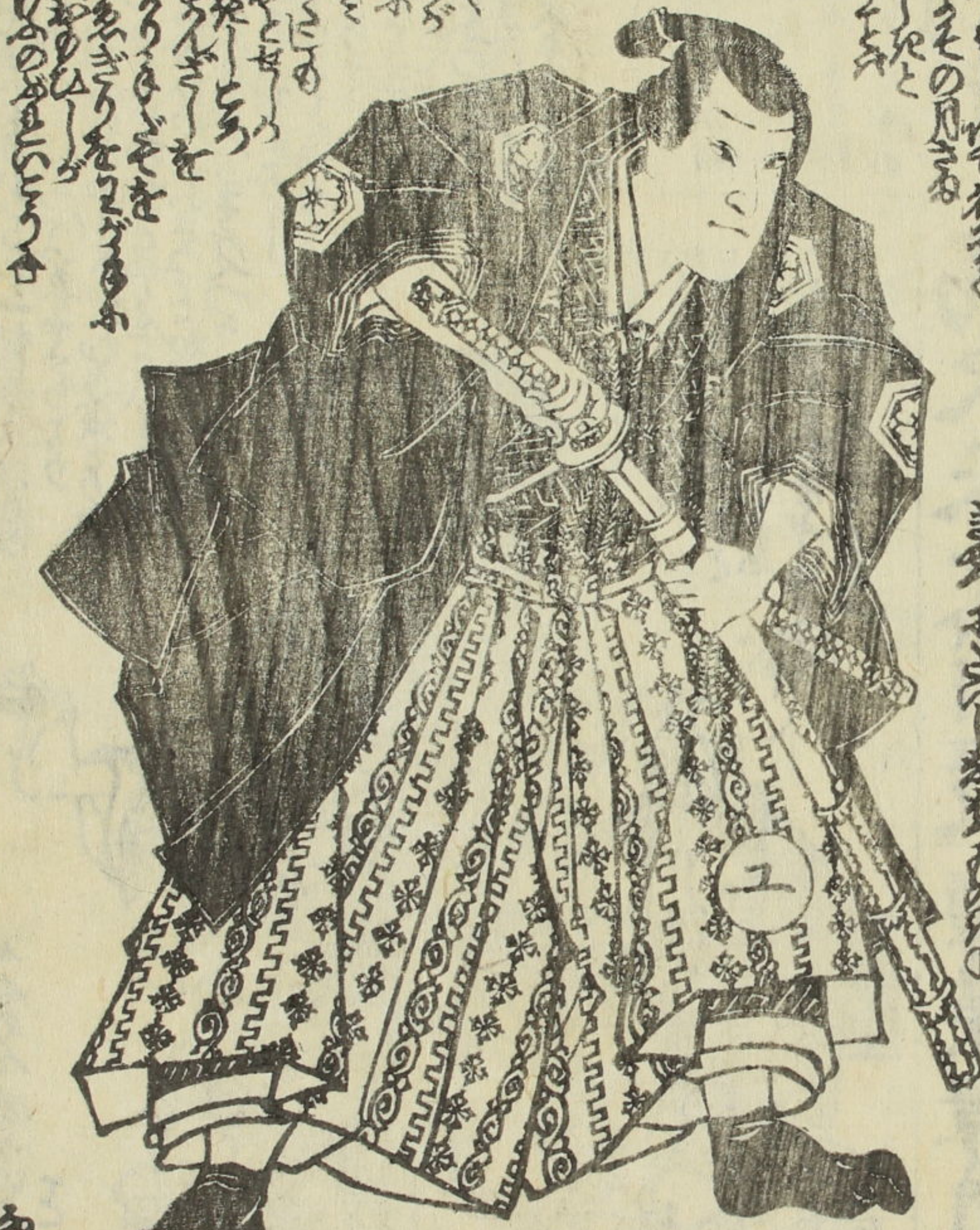
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ  
あはれまじりてあはれ

ちいさな子にけしきつたてはたしなむのこゝろ  
 ありかたとのまらつちありけしきとある  
 ちいさな子にけしきつたてはたしなむのこゝろ  
 ありかたとのまらつちありけしきとある  
 ちいさな子にけしきつたてはたしなむのこゝろ  
 ありかたとのまらつちありけしきとある  
 ちいさな子にけしきつたてはたしなむのこゝろ  
 ありかたとのまらつちありけしきとある



ちいさな子にけしきつたてはたしなむのこゝろ  
 ありかたとのまらつちありけしきとある

この井のよまのこゝろ  
 まらつちありけしきつたてはたしなむのこゝろ  
 ありかたとのまらつちありけしきとある  
 この井のよまのこゝろ  
 まらつちありけしきつたてはたしなむのこゝろ  
 ありかたとのまらつちありけしきとある



この井のよまのこゝろ  
 まらつちありけしきつたてはたしなむのこゝろ  
 ありかたとのまらつちありけしきとある





阿竜

阿竜



宗重

宗重

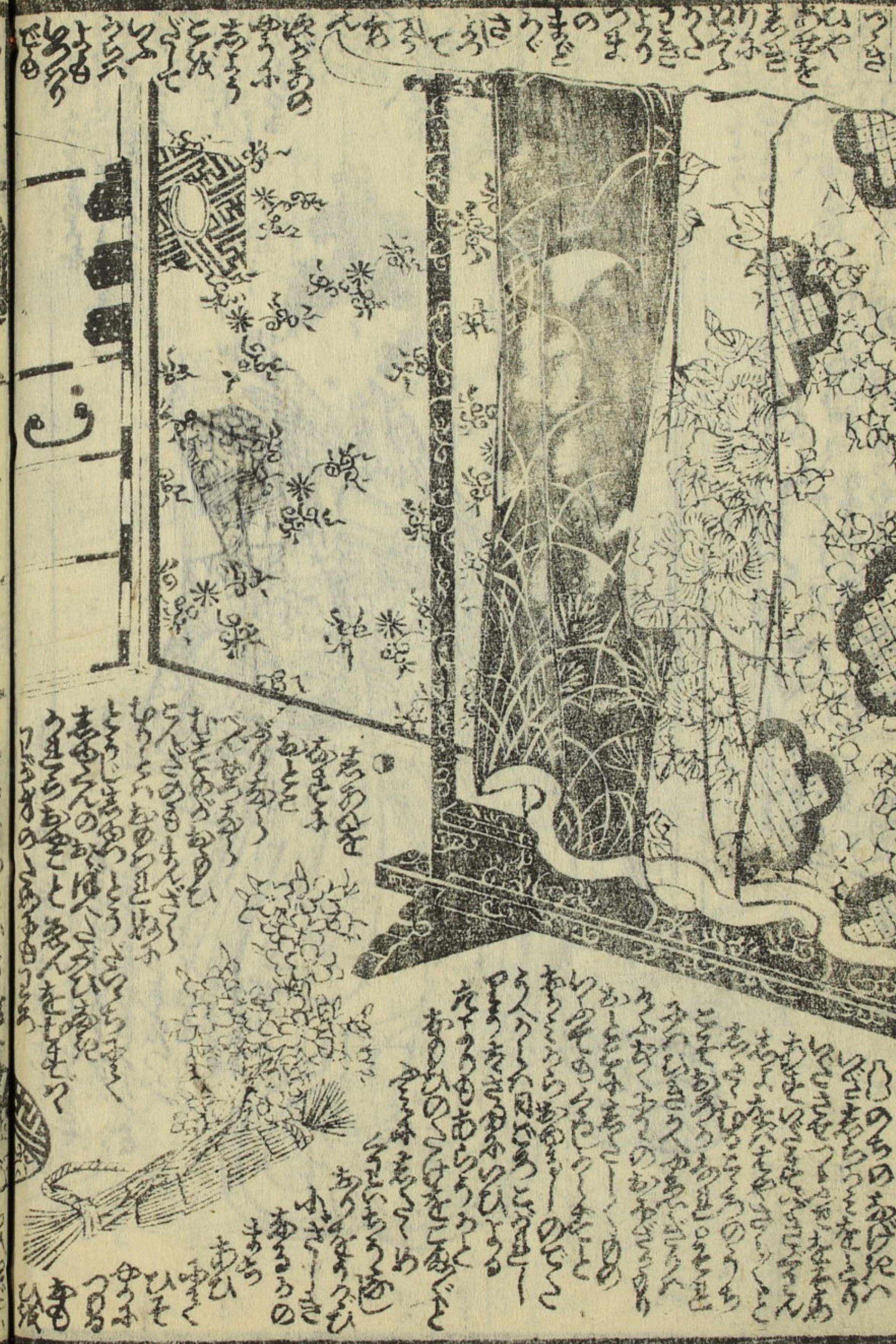
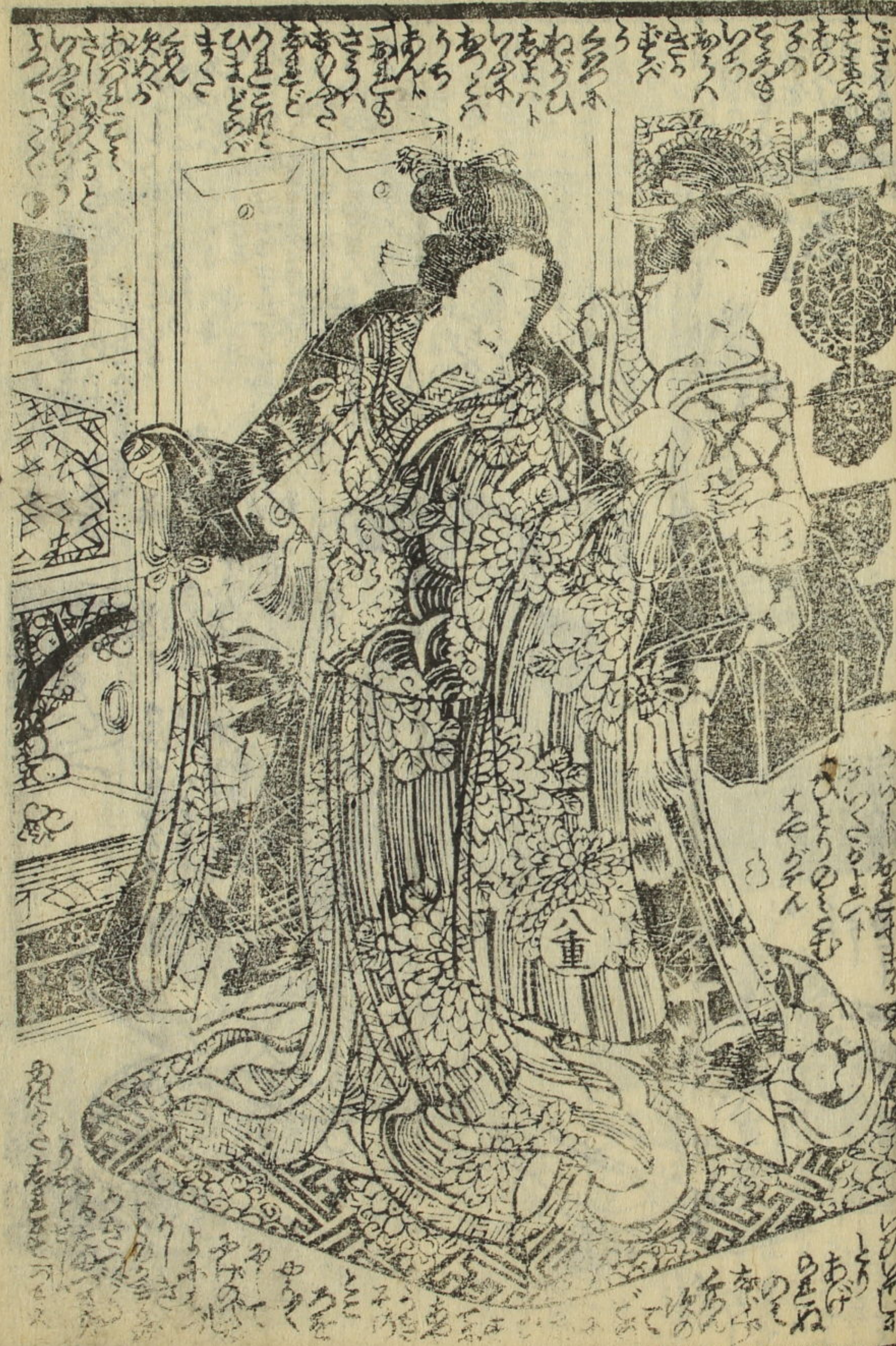












花園 権六

六







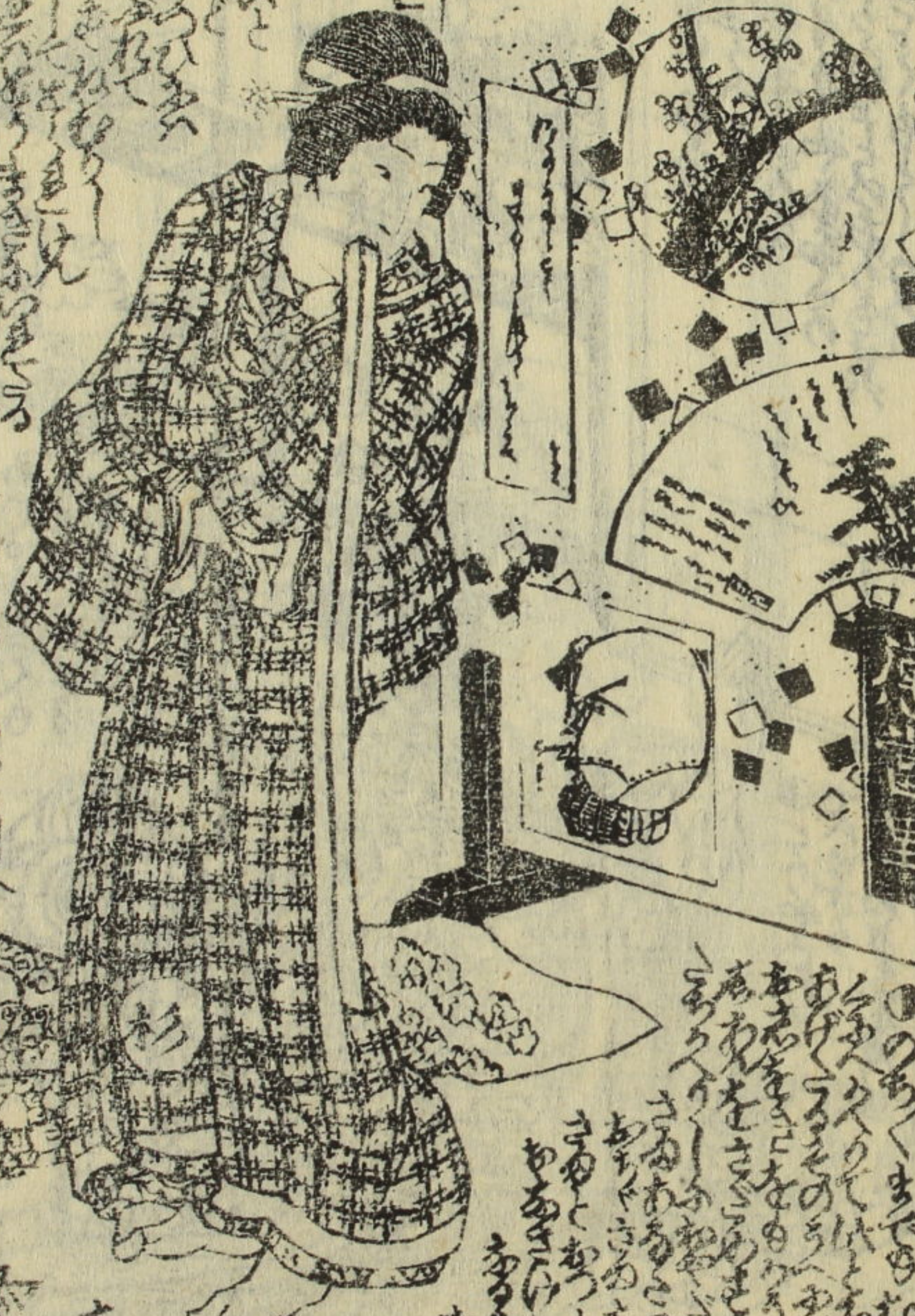
貞画春水補綴

この巻の... 貞画の... 春水の... 補綴の... 貞画の... 春水の... 補綴の...



この巻の... 貞画の... 春水の... 補綴の... 貞画の... 春水の... 補綴の...

この巻の... 貞画の... 春水の... 補綴の... 貞画の... 春水の... 補綴の...



この巻の... 貞画の... 春水の... 補綴の... 貞画の... 春水の... 補綴の...

西國奇談九

十一

あつりしもの  
とまのあり  
うきうきと

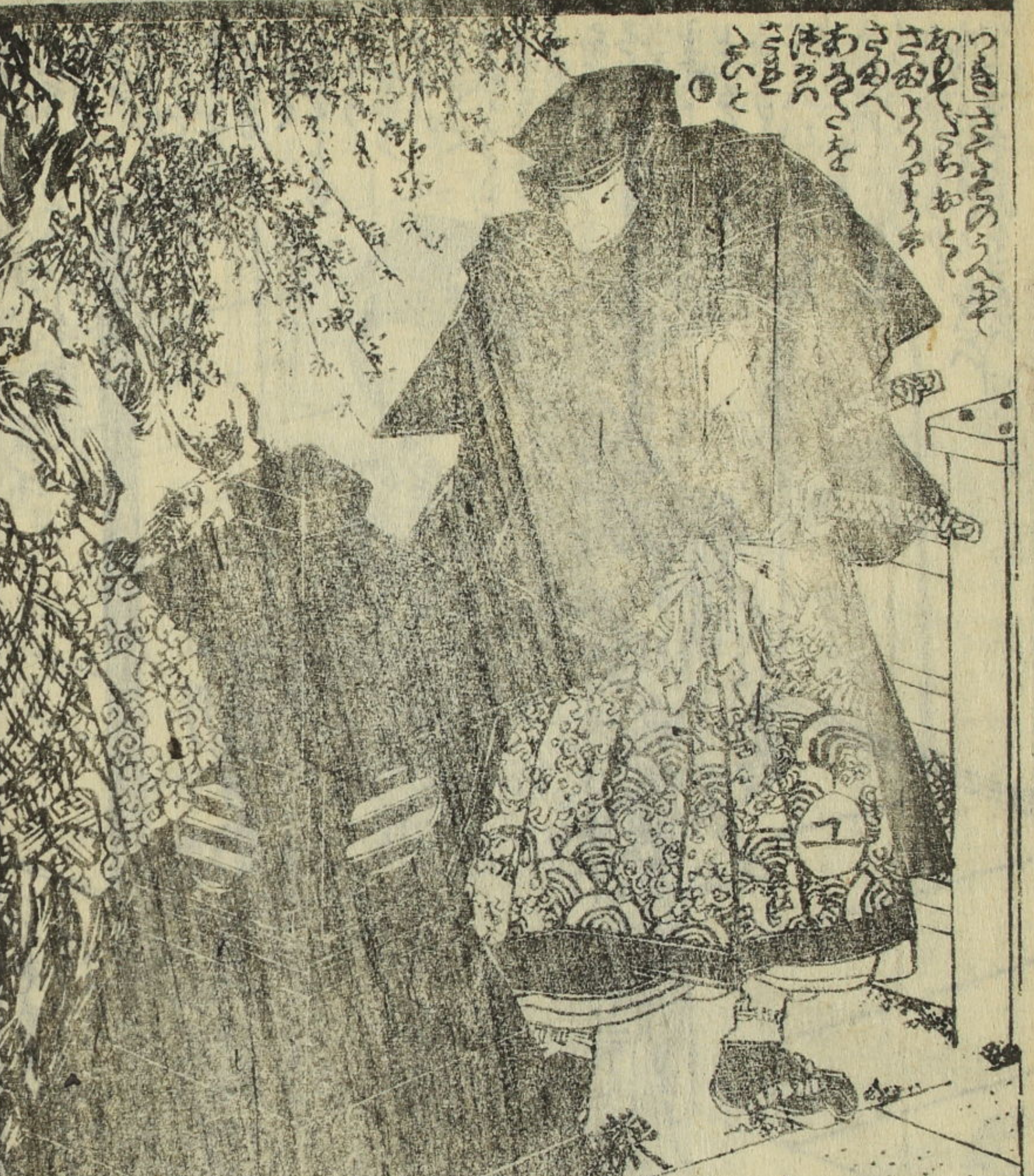
あつりしもの  
とまのあり  
うきうきと  
あつりしもの  
とまのあり  
うきうきと

あつりしもの  
とまのあり  
うきうきと  
あつりしもの  
とまのあり  
うきうきと

あつりしもの  
とまのあり  
うきうきと  
あつりしもの  
とまのあり  
うきうきと

あつりしもの  
とまのあり  
うきうきと  
あつりしもの  
とまのあり  
うきうきと





ついでにこのうへへ  
 おれも知らぬ  
 さかすかす  
 さあ  
 かわ  
 うら  
 さん  
 と

「また」のうへへ  
 おれも知らぬ  
 さかすかす  
 さあ  
 かわ  
 うら  
 さん  
 と



「さあ」のうへへ  
 おれも知らぬ  
 さかすかす  
 さあ  
 かわ  
 うら  
 さん  
 と

「さあ」のうへへ  
 おれも知らぬ  
 さかすかす  
 さあ  
 かわ  
 うら  
 さん  
 と

「さあ」のうへへ  
 おれも知らぬ  
 さかすかす  
 さあ  
 かわ  
 うら  
 さん  
 と





つぎ... ①... ②... ③... ④... ⑤... ⑥... ⑦... ⑧... ⑨... ⑩... ⑪... ⑫... ⑬... ⑭... ⑮... ⑯... ⑰... ⑱... ⑲... ⑳... ㉑... ㉒... ㉓... ㉔... ㉕... ㉖... ㉗... ㉘... ㉙... ㉚... ㉛... ㉜... ㉝... ㉞... ㉟... ㊱... ㊲... ㊳... ㊴... ㊵... ㊶... ㊷... ㊸... ㊹... ㊺... ㊻... ㊼... ㊽... ㊾... ㊿... 一... 左... 右... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十...



三の巻 今や...

まううすて...  
 大いなる...  
 ...  
 ...

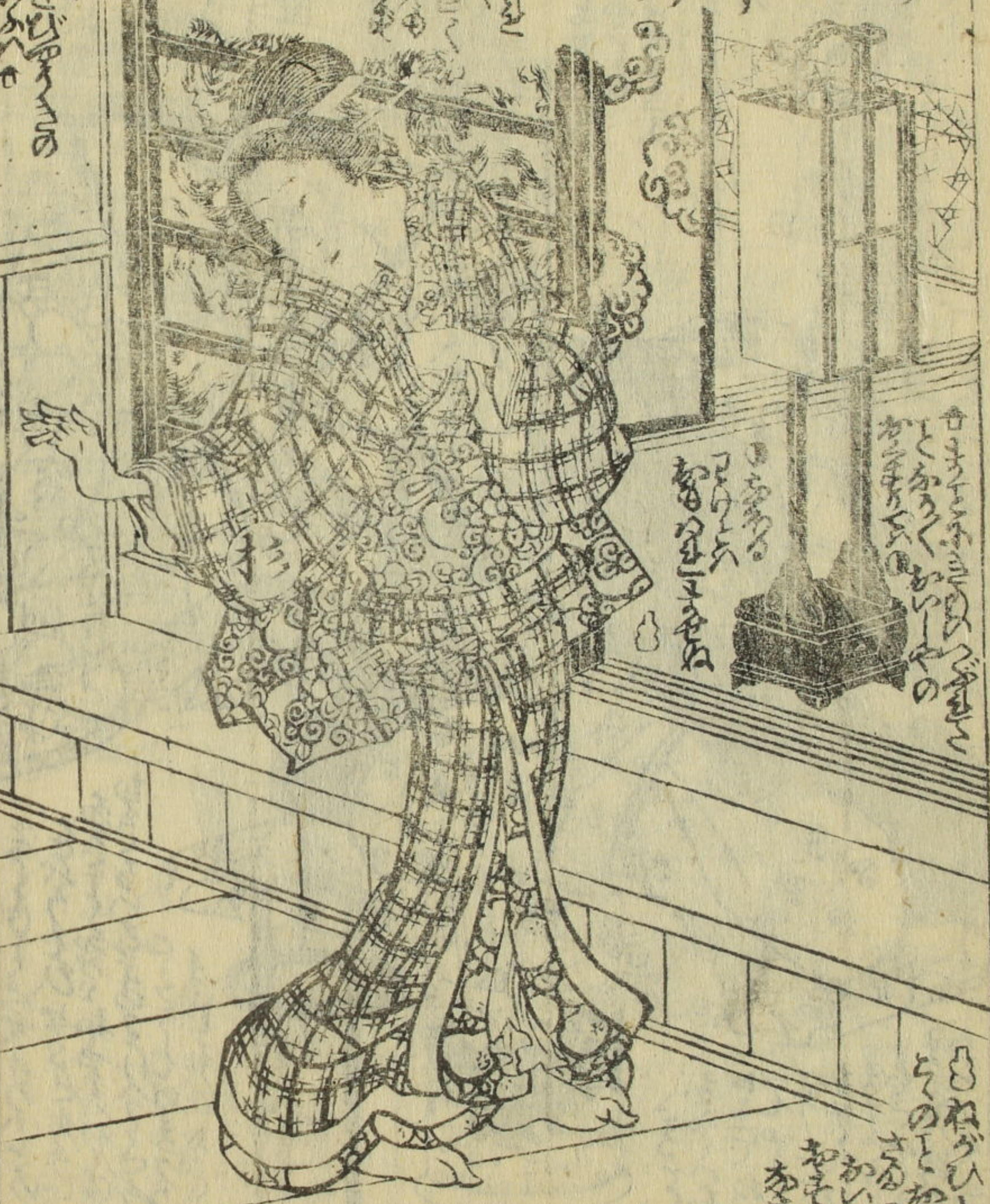


あつと...  
 ...

白國... 炎...

四の巻 今や...

あつと...  
 ...



あつと...  
 ...

四の巻...

二





つぎにうちまきひつたまひなり  
 うらたけのくさのくさのくさ  
 けふと人のくさのくさのくさ  
 あまひつらんたまたまわんと  
 つかさたのくさのくさの  
 つかさたのくさのくさの  
 とつちのくさのくさの  
 こゝろのくさのくさの  
 あのかたのくさの  
 あまのくさのくさの  
 つかさたのくさのくさの  
 あまのくさのくさの  
 つつと

つかさたのくさのくさの  
 あまのくさのくさの  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと

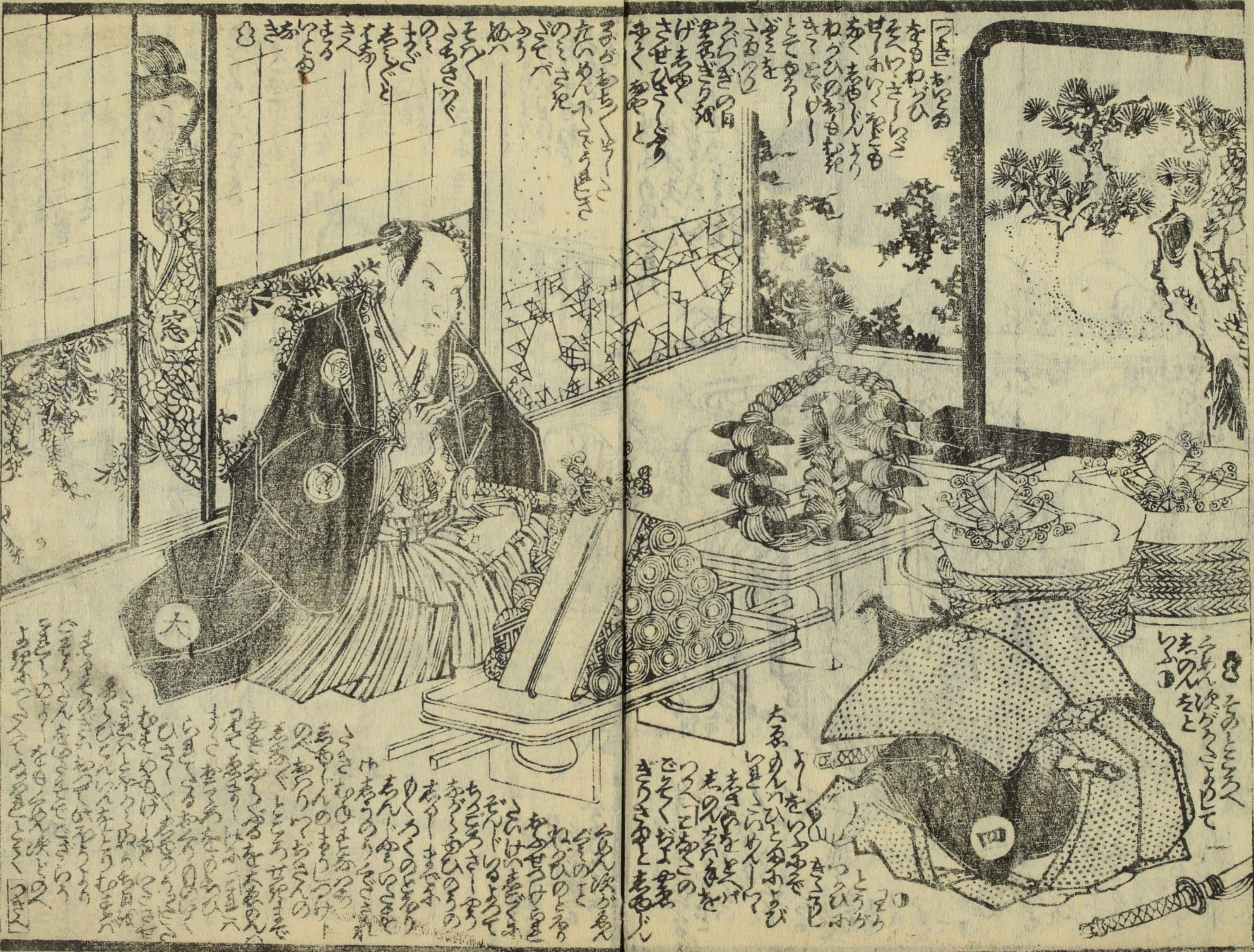


つかさたのくさのくさの  
 あまのくさのくさの  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと

つかさたのくさのくさの  
 あまのくさのくさの  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと  
 つつと

【き】おんあ  
をわづひ  
あけりて  
わづひの  
とてやう  
なむ  
うらさきの  
げき  
させひさう  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ

【き】おんあ  
をわづひ  
あけりて  
わづひの  
とてやう  
なむ  
うらさきの  
げき  
させひさう  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ



おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ

おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ  
おんあ





為永春水補綴梅蝶樓國貞画

新增補西國奇談

二編 為永春水作  
 廿編 西齋芳虎画

薄緑娘白浪

一編 假名垣魯文作  
 十編 錦朝樓芳虎画

隅田川月と梅若

五編 柳亭種彦作  
 六編 山亭有人編次  
 孟齋芳虎画

繪本太閤記

三編 孟齋芳虎画作

地本問屋

西國廣小路

加賀屋吉兵衛板





